

平成 2 2 年 度

「えひめ少子化対策のための企業訪問事業」

報 告 書



社団法人 愛媛県法人会連合会

えひめ少子化対策のための企業訪問事業

〒790-0067

愛媛県松山市大手町 2-5-7

愛媛中小企業指導センター内

TEL (089)933-5596

FAX (089)947-4251

H.P <http://csc-ehime.jp/ehimeho/>

平成 23 年 3 月

社団法人 愛媛県法人会連合会

目次

P1	事業実施概要 総論
P3	「企業訪問事業ヒアリング」集計結果
P5	職場における両立支援実態調査 まとめ／報告資料
P14	CSR(社外)実態調査 まとめ／報告資料
P21	行政に対する要望調査① 〈全般／経営・財政・政治／補助金／雇用〉
P25	行政に対する要望調査② 〈結婚支援／子育て〉
P36	「幼稚園・保育園ヒアリング」集計結果
P38	職場における両立支援実態調査 まとめ／報告資料
P41	CSR 実態調査 まとめ／報告資料
P46	えひめ結婚支援センターに対する要望調査
P48	行政に対する要望調査
P53	「再就職支援に関するヒアリング」集計結果

I. 事業実施概要

事業主旨：少子化社会の進行が企業にとっても深刻な問題という理解を求める。

実施目的：企業訪問を通して仕事と子育ての両立支援に取り組むきっかけ作り。

実施期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日

訪問実績：4,678社、7,340回

実施内容：

- ①「えひめ・未来・子育てプラン」(後期計画)の普及啓発
- ②結婚環境整備に向けた施策の普及啓発
- ③「子育て支援に関するCSRとしての企業の取り組み」実態調査
- ④「職場における仕事と家庭の両立支援」実態調査
- ⑤少子化対策に関する企業の要望調査
- ⑥再就職支援に関する取り組み実態調査
- ⑦幼稚園・保育園におけるヒアリング調査

II. 総論

平成21年度の活動内容(訪問1,301社)を継承し、訪問実績を着実に伸ばすことで(累積5,979社)当会に情報を効率的に発信する機能が備わってきたといえるだろう。これは、今まで協力いただいた企業や教育施設・団体などに対しさらに有効な情報を効率的に配信していける基盤が確立されたと言い換えることもできる。いずれにせよ今後継続事業として展開する可能性も残しつつ、既存協力先に対しては情報の質を高めていくことが重要と考える。

そこで、平成22年度の新たな取り組みとして「幼稚園・保育園」(県下267園)に対しヒアリング調査を実施した。子育てにもっとも敏感な教育現場ということでもあり、ヒアリングに関しては多忙にもかかわらず、すこぶる協力的であった。子供のためといつつ、実は自分自身の都合による事柄であったり、施策自体も親目線のものが多かったりと現場の生の声は実際に足を運ばなければなかなか見えてこない貴重な意見が多かった。保護者の教育意識・参画意識の変化や、共働き世帯増加に伴う職員業務負担の増加など、近年の家庭事情に施設の実情が追いついていない現状もうかがわれるのでぜひ一読していただき、多少なり現場を実感してもらえることを願う。

ヒアリング実施企業は 1,346 社（訪問社数の約 3 割）に協力いただいた。

「えひめ・未来・子育てプラン」の認知度 30%、

「えひめ子育て応援企業認証制度」への興味関心度 21%、

「ワークライフバランス」の認知度 42%、

「えひめ結婚支援センター」への協理解度 62%、

事前の意識はかなり低調ではあるが、「えひめ結婚支援センター」のように説明を施した後に意思確認するものに関しては相応に高い数値が上がっている。

「子育て支援に関するCSRの取り組み」に関して 54%が取り組みをしているが、実際のところ支援員が取り組み事例を挙げるまでは「取り組みはない」と答える企業がほとんどである。企業経営者にヒアリングをする中、長引く景況低迷にもかかわらず既にCSRやWLBの環境整備を推進している企業も多く、改めて独自の企業文化を構築するには適した手法であると考えられる。

また説明を終えた後、広報戦略のあり方に提言いただくケースが多く見られた。各認知度の低さもさることながら、「えひめ子育て応援企業認証制度」などはブランド力の向上でもっと話題に上がってもおかしくないという意見が多かった。

行政に対する要望では景況回復や地域間格差の広がりに応じた施策の実施、申請手続きの簡素化などを望む声が相変わらず強い。

結婚環境整備にむけた施策の普及啓発においては実にさまざまな意見が聞けた。

お見合い形式のシステム構築、過疎地でのイベント活性化、事業後継者不足に悩む業種への対策など多様化するニーズが浮き彫りになり課題が明確になった。

再就職支援に関するリサーチでは約 65%の企業が前向きに採用する意思表示をしている。採用のポイントは1に人柄、2にスキル。不安要素は家庭環境に左右される不安定勤務。

（協力いただいたみなさまへ）

多くの訪問企業に協力が得られたおかげで、無事報告書のまとめが整いました。

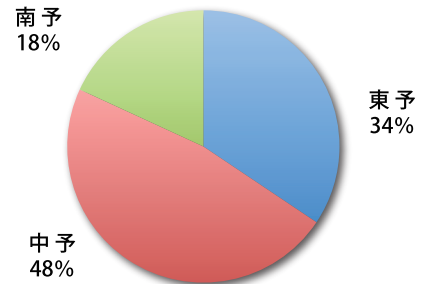
今後も引き続き、訪問企業が取り組みやすい事例や、役立つ情報をしっかり提供していくことで、徐々にではあるが成果の可視化を心掛けて活動していくものです。

「企業訪問事業ヒアリング」集計結果

1. 訪問(回答)社について

	訪問社数	割合
東予	463	34%
中予	639	48%
南予	244	18%
合計	1346	100%

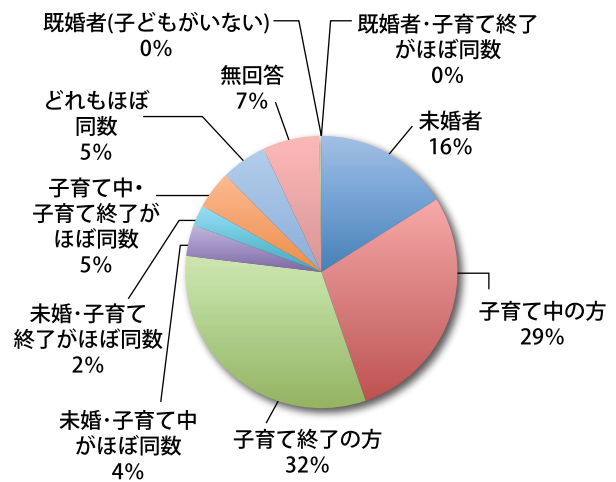
訪問地区



2. 従業員の割合について

	合計	割合
未婚者が多い	216	16%
子育て中の方が多い	386	29%
子育て終了の方が多い	433	32%
未婚・子育て中の方がほぼ同数	50	4%
未婚・子育て終了の方がほぼ同数	33	2%
子育て中・子育て終了の方がほぼ同数	61	5%
どれもほぼ同数	73	5%
無回答	91	7%
既婚者(子どもがいない)の方が多い	2	0%
既婚者・子育て終了の方がほぼ同数	1	0%

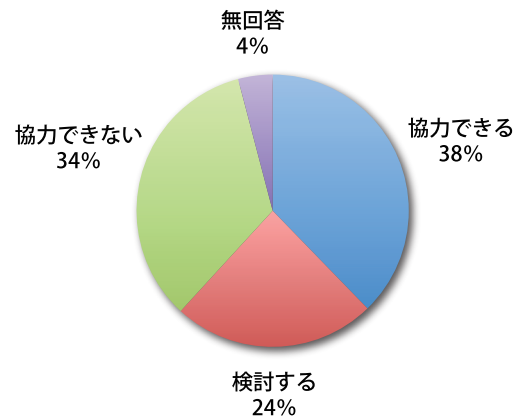
従業員の割合で多いのは



3. えひめ結婚支援センターの協賛企業として、ご協力いただけますか。

	合計	割合
協力できる	508	38%
検討する	324	24%
協力できない	459	34%
無回答	55	4%

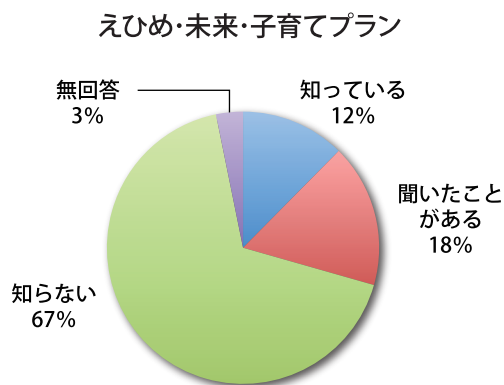
協賛企業



※協賛企業とは、仕事が忙しく、出会いの機会が少ない单身男女の方々に、「えひめ結婚支援センター」の目的や事業内容等を周知していただき、メルマガ登録やイベント参加の促進を図ることによって、出会いの場づくりを側面から支援していただく企業や団体、自治体のことをいいます。

4.「えひめ・未来・子育てプラン」を知っていますか。

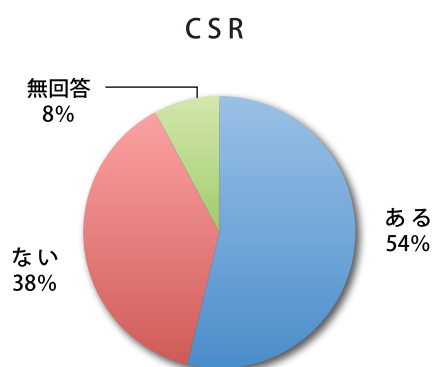
	合計	割合
知っている	167	12%
聞いたことがある	229	18%
知らない	907	67%
無回答	43	3%



5.企業のCSRとして、子育て等に関して取り組んでいることはありますか。

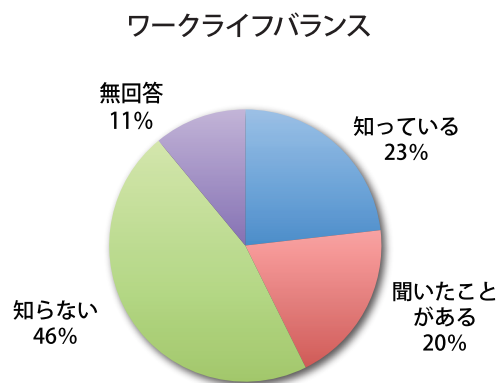
	合計	割合
ある	724	54%
ない	517	38%
無回答	105	8%

※内容に関しては報告資料(P5～P20)参照。



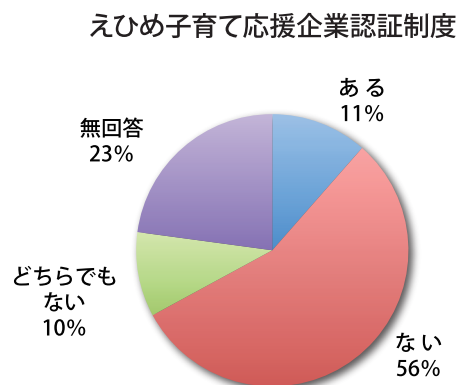
6.「ワークライフバランス」という言葉を知っていますか。

	合計	割合
知っている	312	23%
聞いたことがある	262	20%
知らない	623	46%
無回答	149	11%



7.「えひめ子育て応援企業認証制度」について興味はありますか。

	合計	割合
ある	154	11%
ない	748	56%
どちらでもない	137	10%
無回答	307	23%



職場における両立支援実態調査

【取り組み内容一覧】

	中予		東予		南予		合計	
産休・育休の整備	39	15.2%	44	17.7%	28	43.8%	111	19.5%
柔軟な勤務体制・休暇を取得しやすい職場環境づくり(ノー残業デー等を含む)	146	57.0%	161	64.7%	18	28.1%	325	57.1%
支援制度の周知・利用促進(代替要員の活用を含む)	48	18.8%	33	13.2%	16	25.0%	97	17.0%
復職支援・復職時の配慮(休暇取得中の情報提供、雇用形態の配慮等)	23	9.0%	11	4.4%	2	3.1%	36	6.4%
合計	256		249		64		569	100%

取り組み内容の地域特性は、南予地区が「制度の整備」東・中予が「職場環境の整備」ということで集約される。
南予では「職場における仕事と家庭の両立支援」という取り組み意識自体が希薄。

【産休・育休取得実績】

	中予		東予		南予		合計	
制度利用実績がある	7	14.0%	35	70.0%	8	16.0%	50	100.0%
※制度が整備されて実績も伴う企業の割合		17.9%		79.5%		28.6%		

制度はあるがなかなか実績が伴っていない声が多く聞かれる中、東予に関しては他を圧倒する形で実績が挙がってきた。

【産休・育休以外の導入制度一覧】

	中予		東予		南予		合計	
フレックスタイム制度	4	23.5%	2	20.0%	1	25.0%	7	22.6%
裁量労働制度	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.2%
短時間勤務制度	3	17.6%	6	60.0%	0	0.0%	9	29.0%
リフレッシュ休暇(10日間程度)	6	35.3%	0	0.0%	1	25.0%	7	22.6%
勤務地変更制度(配偶者の転勤に合わせて取得)	2	11.8%	2	20.0%	1	25.0%	5	16.1%
メモリアル休暇	1	5.9%	0	0.0%	1	25.0%	2	6.5%
合計	17		10		4		31	100%

産休・育休以外の導入制度となると南予に特徴が見られず、東予で短時間勤務、中予で長期休暇が目立つ。

【対外的なPR一覧】

	中予		東予		南予		合計	
えひめ子育て応援企業(愛媛県)	7	77.8%	7	87.5%			14	82.3%
「わが社のCSR顕彰」(松山商工会議所)	1	11.1%	0	0.0%			1	5.9%
未来を築く子育てプロジェクト(住友生命)	0	0.0%	1	12.5%			1	5.9%
えひめ家庭教育サポート企業連携事業(愛媛県教育委員会)	1	11.1%	0	0.0%			1	5.9%
南予は該当なし								
合計	9		8		0		17	100%

さまざまな取り組み方の中、「えひめ子育て応援認証企業」を取得する企業が多い。ブランド力の向上が求められるところ。

【個性的な取り組み例】

	中予		東予		南予		合計	
育休手当6割支給	1	14.3%	0	0.0%			1	11.1%
出産祝い金/小・中・高入学祝い金/高校卒業祝い金 各10万円	4	57.1%	0	0.0%			4	44.5%
配偶者以外の育児休業制度	1	14.3%	0	0.0%			1	11.1%
特定不妊治療費一時金支給	0	0.0%	1	50.0%			1	11.1%
3人目出産時 お祝金(200万円)	0	0.0%	1	50.0%			1	11.1%
小学校入学時ランドセルのプレゼント	1	14.3%	0	0.0%			1	11.1%
南予は該当なし								
合計	7		2		0		9	100%

取り組み例の中身からは、暖かみのある企業姿勢が強く伺われる。

CSRの実態調査

●社内(従業員)向けの両立支援

地区	所在地	業種	内容
中予地区	松山市	印刷業	<ul style="list-style-type: none"> ・残業はほとんどない。 ・子どもが小さい間は在宅で仕事をしてもらっている。 ・育休中の従業員への情報提供、復帰に対するプロセスを補助。 ・従業員やその家族を対象にしたレクリエーション行事の企画。
		医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の職員に対し、残業なし、夜勤なし、保育料の支給あり(幼稚園まで)。 ・育休手当6割支給。 ・院内保育室 ・産休、育休等【6件】 ・えひめ子育て応援企業の認証を受けている。(年次休暇等の取得のための措置)【2件】 ・えひめ家庭教育サポート企業連携事業を行っている。(有休とは別に学校行事参加の為、子ども1人につき一日の特別休暇有り。) ・従業員同士がお互いの家族状況を認識しており、有事の際の対処にも援助しあう意識が備わっている。 ・子どもの急な病気の時や行事の時など、できるだけ調整している【2件】 ・院内託児所を持つ、小2までの幼児を預かっている。 ・一般的なフレックスタイム、短時間勤務、産休、育休は整っている。産後8週間の有休。産休後の職場復帰も1例あり。 ・パート・正規従業員は同一賃金。 ・定年はなし。 ・育児中の方には、学校行事にあわせて休みの取れるように時短措置や職員同士で話し合い工夫している。
		飲食サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間勤務制度、夏季、冬季休業。 ・個人面談で1人1人臨機応変に細やかな対応をしている。 ・学校行事に合わせた対応。 ・パートの方には、子どもが病気のときに休めるよう配慮している。 ・育児休業、育児手当の整備。 ・第1回「わが社のCSR顕彰」見える化賞を受賞。(伝統技術・文化の継承と人材育成、創業支援) ・日本料理は伝統芸能であるとの考えから、その技術を次代に伝える技術の伝承・職人の育成とそれを生かす創業支援に取り組んでいる。自分の店を持つという夢を実現しようとする従業員に対し、技術を伝え、仕入先や得意先の紹介など色々な面で支援している。現在、独立創業者は5人になり、いずれも順調に推移している。各創業者の活躍が励みになり、また、本物を理解する客の増加や、地域の活性化にもつながっている。 ・シフトを組んでいるため、従業員同士で協力し合い休み等の調整をしている。
		公務	<ul style="list-style-type: none"> ・産休、育休、時短などの周知活動
		卸売業・小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・残業はほとんど無い。【4件】 ・残業をなくすため、定時退社の指導・促進。 ・ノー残業デーの実施等【3件】 ・一般事業主行動計画策定済【2件】 ・子育てしやすい環境づくり、企業風土づくりを行っている。 ・出産祝い金10万、小中高入学祝い金10万、高校卒業祝い金10万。 ・子育て支援金月3万円、住宅手当月1万5千円。 ・産休、育休の制度の周知。 ・産休、育休等【7件】 ・従業員個人別にそれぞれ対応(学校行事など)。【12件】 ・販売業のため、子育てしながら働くのは難しいという実情もあるが、シフト制等で対応している。 ・ワークライフバランスセミナーの実施。 ・ワークライフバランスの促進。 ・パートを正規従業員へ登用。 ・予定のある時は休みやすく、仕事が終わったら帰りやすい環境である。【3件】 ・土日祝日も営業しており、シフトを組んでいるので休みたい時に調整しやすく、融通がききやすい。また相談しやすい雰囲気である。【2件】 ・法人会の指導の下就業規則等しっかりしている。 ・本社では正規従業員1名が遅く入社して早く退社している。 ・子育て中の方はパートが多く、シフトを組んでいる為、参観日や行事の時など休みたい時に休みが取れている。また、結婚しても残って欲しい旨は伝えているが、辞めてしまう方が多い。 ・パートなので都合の良い決まった時間に来てもらい、時間通りに終わるので残業はない。 ・孫が生まれた際は1ヶ月休暇後、2人目が生まれた際は3ヶ月休暇後に職場復帰を認めている。 ・リフレッシュ休暇を取り入れている。【2件】 ・出産後の職場復帰には積極的。事例も多数ある。【3件】 ・社内に投書箱を設置、(家庭状況も含めた)個人的な要望、意見を気兼ねなく伝える機会となり、会社側も内容に応じて前向きに検討、規則の見直し等にも繋がっている。 ・復帰を前提とした従業員への指導も随時行っている。 ・残業時間を本社管理部が管理して制限、「ワークライフバランス」を重視。 ・*(同社にとって)製造部門は従来は男性のみの業務という意識があったが、女性でも担える部分もあり、事務面だけでなく、仕入・営業においても幅広く能力が発揮できるという点を強調。女性従業員の経験も、取引先との繋がりが(得意先の把握)という面で貴重な財産であるという考え方である。 ・長期の休みの時(夏休み等)などは半月程休暇が取れる。 ・定年後は5年間の再雇用を行っている。給与は減額されず退職時のままでの雇用。 ・経験が重視される業種なので、仮に退職してから復職の要望があれば喜んで受け入れている。 ・パワーランチ(昼食を持ち寄り、従業員間の交流を図る)を実施し、従業員の子育ての悩みを共有している。 ・子育て中の従業員の勤務調整。 ・定年後の従業員の再雇用。 ・65歳を過ぎた従業員にも、時給制で働いてもらい、技術を継承してもらっている。 ・従業員が外部の医師などと悩み相談できるようなネットワーク環境を構築している。

地区	所在地	業種	内容
中予地区	松山市	サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の事情に応じて対応。【2件】 ・誕生日休暇。 ・学校行事に合わせた休暇制度がある。 ・子ども手当を支給。 ・産休、育休等【4件】 ・育児休業は満2歳になるまで有り。 ・子育て応援隊に登録している。【2件】 ・子どもの参観日、病気のときなどは休めるように柔軟に対応【9件】 ・残業はほとんどない。【3件】 ・有休が取りやすい職場環境にある。【2件】 ・土日祝、年末年始も営業しており、休日は相談しシフトを組んでいるので比較的調整しやすい。 ・出産後の職場復帰には積極的。事例あり。【2件】 ・残業等は家庭状況に応じたタイムシフトを組んでいる。 ・出産祝いを出している。 ・ノー残業デーを決めている。
		建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・育児時短、所定外労働の免除、それらの周知。【3件】 ・産休等からの復帰に力を入れている。 ・小中高と入学祝い金を支給している。 ・産休、育休等【4件】 ・企業内で積極的に有休を取るよう薦めている。 ・子どもの病気時の有給休暇など。 ・就業規則上で産休・産休ともに整備されている。 ・残業はほとんどなく、有休は消化できている。 ・事業所や部署によって違うが総務部は水曜日と給料支給日がノー残業デーである。 ・急な休みや遅刻早退にも対応。相談し易い雰囲気と環境である。従業員1名、自己都合で最近まで1ヶ月間、朝1時間遅く出社していた。 ・残業はほとんどない。【3件】 ・有休は取り易い雰囲気です申請したら必ず取れる【3件】 ・子育て中の従業員(男女)に対して、子どもの学校行事等に対して臨機応変に対応している【2件】 ・学校行事等、休ませている。【2件】 ・小学校入学に合わせて、ランドセルをプレゼント。日給制なので育休等についても対応している。 ・ノー残業デー
		情報通信業	<ul style="list-style-type: none"> ・フレックス、裁量労働制。就業規則等、社内規定の周知。 ・フレックスタイム制度の実施。(10時～3時をコアタイムとする)【3件】 ・小中高大の子ども手当を支給。 ・保育園に入れない場合等には、1年以上の育児休業を認めている。 ・育児休業 ・介護休暇を取得した人がいる(無給)。有休は50%～100%取得している。 ・残業は2日に1回位しかない。 ・休みは取りやすい環境である。 ・水曜日をノー残業デーにしている。【2件】 ・以前勤めていた女性従業員(2名)に対して、在宅勤務の仕事をしてもらっている。元従業員は結婚・出産を機に退職したり、配偶者の転勤のため退職した人たち。産休や育休で休む従業員の代替要員は専門職のため確保するのが困難なため、全体の仕事を調節したり、残った従業員で補っている。 ・認証企業【行動計画】 <ul style="list-style-type: none"> ①子育て支援制度の周知 ②柔軟な労働時間制度の導入検討 ③職場体験(中学生) インターンシップ(大学生)受け入れの充実 ④ノー残業デーの実施 ⑤年次有給休暇の取得促進 ・女性の出産後の職場復帰には積極的。前例もかなりあり。復帰を前提とした従業員への指導も随時行っている。【2件】 ・えひめ子育て応援企業【2件】 ・産休育児休業の整備。産後8週間の有休。産休後の職場復帰も1例あり。 ・残業は無い。 ・有休は取りやすくしている。 ・家庭にあわせた働き方をしてもらっている【2件】 ・育休中の従業員に対する情報提供。 ・学校行事に合わせて休む事が出来る。 ・保護者の働いている所を子どもが実際に見ることが出来る。
		資材業	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間勤務制度がある、個人に合わせた対応をしている。
		不動産業	<ul style="list-style-type: none"> ・育児法改正に合わせた就業規則の変更済、社内周知も行っている。 ・ずっと職場にいらなくても良い仕事なので、柔軟に対応する事が可能。 ・就業規則の整備 ・子育てのための休暇等、取得しやすい環境を整えている。 ・育休や産休制度あり。 ・過去に産休を取得した実績がある。 ・学校行事に合わせて休日。
		製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に合わせて休日を与えている【2件】 ・子育て中の従業員に対し、優先的に土日休みにする。また、時間帯の優遇。 ・パートの6名(女性)は定時退社、また予定のある時など休みを取りやすい環境・雰囲気である。 ・ノー残業デー【2件】

地区	所在地	業種	内 容
中予地区	松山市	教育・学習支援業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に合わせ短時間勤務対応。 ・子育て中の従業員に対して、学校行事には休ませるなどの対応をしている。 ・週休2日(日曜と平日1日)で、土曜日はノー残業デーを取り入れている。(繁忙期を除く) ・残業はなし。学校行事活動参加のための休日取得。 ・従業員の子供が病氣したり、学校行事等があれば休日、有休を与えている。 ・結婚・出産後も、時短や育児休業等、長く働ける体制が整備されている。 ・有給休暇も全て消化。 ・育児休業明けの職員には、時短を勧めている。 ・土曜日は行事が入ることがあるが、土日は原則休み。プライベートに干渉しないように配慮している。 ・臨時職員などの代替要員を活用しながら、育休や産休は取りやすくしている。 ・延長保育、預かり保育等も行っているが、基本的には18時には帰宅できるように配慮している。
		郵便業	<ul style="list-style-type: none"> ・病気のときは、配慮して休めるようにしている。
		運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休、育休等 ・事務の方残業なし ・参観日の半休など ・産休・育休の整備。 ・女性従業員は、残業はなく、5:15に終業。 ・子どもの体調に応じ休日など融通をきかせることができる。
		金融業	<ul style="list-style-type: none"> ・残業は基本的にない ・月に1～2日は残業があるが、基本的にはない。 ・リフレッシュ休暇等を設けている ・育休や産休を取得した従業員が1名おり、休暇中は残りの従業員で仕事を分担した。 ・有休の取得促進。
		広告	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者が以前PTAの会長をしており、職場体験の調整役(職場体験の受け入れ先を学校に紹介したり、職場体験前に色々な職業の方を学校で話をするようにお願いしたりする)として協力している。
		保険業	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の社員には、子どもや家庭の事情等に合わせて、出勤時間や早退など希望に沿う形で対応している。【2件】 ・ノー残業を心がけて従業員を帰らせている。 ・子どもの病氣・検診・学校行事に柔軟に対応している。
		農業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休があり過去利用者もあり。 ・参観日等調整して休みを取らせている。
		電気・ガス・水道業・熱供給業	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員は残業はない。 ・子どもを連れてきても良いようにしてある。遊具を設置してある。
		造船業	<ul style="list-style-type: none"> ・出産祝い金がある。3人目以降に多く支給できるよう配慮。
	宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> ・出産後も続けて働いて欲しいが旅館は職種柄結婚や出産をすると退職してしまう人が多い。退職する際、子育てが落ち着いたらいつでも戻っておいでと伝えている。 ・育児休業中の情報提供。 	
	松前町	卸売業・小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・現場見学受け入れ。
	砥部町	製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の工場見学の受け入れ。 ・学校活動参加のための休日取得。夏休み時、長期休暇可能。
		卸売業・小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・残業は1時間のみ ・男性従業員の育児休業の啓蒙。配偶者出産時休暇の取得推進。
	伊予市	建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・育児手当(高校生まで)、出産祝い金。 ・産休育休の整備【2件】 ・子どものいる従業員に対しては柔軟に対応している。
製造業		<ul style="list-style-type: none"> ・家族での時間を増やすことを目的とした残業時間削減運動を展開している。えひめ子育て応援企業。育児休業取得の推進をしている。 ・従業員に学校行事への積極的な参加を働きかけ。育児休業取得の推奨。 	
小売業		<ul style="list-style-type: none"> ・子どものいる従業員に対しては柔軟に対応している【3件】 ・えひめ子育て応援企業。育児休業取得の推進をしている。 	
福祉・医療		<ul style="list-style-type: none"> ・制度としてはほかのどこよりも充実している自負はある。さらに復職率もほぼ100%。就業形態も柔軟に対応できているがこれ以上やるとスケジュールが組めなくなる。 	
漁業		<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に合わせて休日。 	

地区	所在地	業種	内 容
中予地区	東温市	情報通信業	・短大生、大学生などの職場体験を行っている。(高度な技術の部分が多いので、1日程度) ・子育て中の従業員の子どもが病気や行事の際は、休みを与えるようにしている。ただ、技術的な部分が多いので長期休暇の取得が困難。
		建設業	・ノー残業デー。 ・学校行事に合わせて休みが取れる。
		医療・福祉	・産休育休の整備。取得実績有。 ・急な場合でも、職員同士で連携し休みを取れるようしている。
		製造業	・リフレッシュ休暇制度。(10日程度の長期休暇)
		卸売業・小売業	・育児休業取得。 ・職場体験【2件】 ・社用車へのまもくんステッカーの貼付。 ・職務時間が特殊だが、その分家族と触れ合う時間を大切にしている。 ・子育て中の従業員には時短や従業員同士で勤務時間調整を行っている【3件】 ・以前育児休業後、職場復帰した事例がある。(正規従業員。パートの方は復帰はしなかった) ・インターンシップの受け入れ。 ・育休、産休を取ることができる。ただし、パートの方が多く職場復帰等の事例はない。 ・子育て中の従業員には、社長から声を掛け、休みやすい環境づくりをしている。
東予地区	西条市	卸売業・小売業	・えひめ子育て応援企業。
		建設業	・学校や家庭の都合での休暇は、急なものを含めて有給休暇扱い。 ・産休育休の整備【2件】 ・家族工場見学会
		鉄鋼業	・急な休みにも、有休で対応。
		会計	・急な休みにも、有休で対応。
		運送業	・急な休みにも、有休で対応。
	四国中央市	サービス業	・子どもの学校行事や病気などによる、遅刻・早退・欠勤への柔軟な対応。
		製造業	・フレックスタイム制度実施。 ・育児休業制度あり【2件】 ・CSRレポートの冊子発行 ・ノー残業デーの導入。
		小売業	・男性の育児休業取得(1日)実績有り。 ・産休育休の整備。取得実績有り。
		建設業	・子育て中の従業員の短時間勤務の実施。
		組合	・育児休業取得実績有。
		運輸業	・えひめ子育て応援企業。 ・育児休業取得実績有。
		医療・介護	・子育て中の従業員の遅刻・早退や欠勤などに柔軟に対応出来る体制をとっている【3件】 ・託児施設完備。従業員は民間施設より安く利用出来る。 ・就労規則の整備済。育休、産休取得者あり。 ・男性への育休取得の周知。 ・えひめ子育て応援企業。
		製紙業	・産休・育児休業取得実績有【8件】 ・えひめ子育て応援企業【2件】 ・毎週水曜日はノー残業デーとしている。 ・出産後1日休み制度あり、子どもの参観日や急病の為の半日有休制度あり。

地区	所在地	業種	内 容
東予地区	今治市	娯楽業	・基本、土日は出勤だが、ある程度休みに関し融通を利かせている。
		鉄鋼業	・学校行事の休みの融通。
		建設業	・行動計画策定 ①父親の出産休暇取得推進(3日以内の有給休暇) ②所定外労働時間を1人あたり300時間未満にする ③有給休暇取得を、一人当たり年間3日以上にする。 ・家族(子ども)の都合、急病、学校行事への参加などでの休暇や早退など、柔軟に配慮して対応 ・休暇は申請通り取得可能【4件】 ・学校行事参加などでの時間の段取りは柔軟に配慮して対応【10件】 ・学校行事や子どもの急病などでの早退や休暇には柔軟に対応。【7件】 ・子育て中の従業員の急な休みにも有休で対応【4件】 ・産休育休の整備。 ・独自の子ども手当支給。
		サービス業	・家族(子ども)の都合、急病、学校行事への参加などでの休暇や早退など、柔軟に配慮して対応 ・休暇は申請通り取得可能。
		医療・福祉	・配慮して雇用環境を整備。 ・以前は、従業員用の託児所を設けていたが経費面が難しく廃止した。 ・女性(既婚・子どもあり)の多い職場なので、昔から働きやすい環境を整えている。 ・申請通りに休暇を取得。【2件】 ・学校行事参加や家族急用などでの休暇にも柔軟に対応。【4件】 ・早期からの育休取得促進。 ・女性が多く働いているので、女性が働きやすい環境が整っている。【2件】 ・ノー残業デー【2件】 ・産休・育休からの復帰時や、子どものいる人へは配属部署考慮。 ・短時間勤務 ・急な休みでも有休で対応【2件】 ・残業しないよう業務調整。 ・産休・育休からの職場復帰。
		農業	・休暇は申請通り取得できる。 ・急な休暇も有休で対応。
		卸売業・小売業	・出産休暇取得推進 ・産休や育休の取得推進他【2件】 ・有給休暇を取りやすい環境。 ・子どもの学校行事への参加時の休暇。 ・営業職は、自分で調整して段取りをつけて学校行事などへ参加している。 ・休暇の融通、労働時間の短縮、持ち場変更。 ・休暇は申請通りに取得できるようにしている。 ・参観日等、学校行事での休暇や外出など申請あれば自由に行える。 ・学校行事への参加での休暇は、事前の申請で対応。 ・学校行事や子どもの急病などでの早退や休暇には柔軟に対応。【14件】 ・ノー残業デー【2件】 ・産休・育休からの復帰 ・短時間勤務 ・急な休みでも有休で対応【3件】 ・産休や育休中の人が1名(8/2)おり、復帰後の勤務は時間の融通をきかせる予定。 ・家族手当 ・急な休みにも休暇で対応。 ・育休明けは昼休み時間考慮。(長く取れる)
		情報通信業	・普段から、ライフステージの変化に応じて休暇など対応している。 ・正規従業員女性の内、約半数は育休取得 ・休暇は申請通り取得可能
		鉄工業	・休暇は申請通り取得可能 ・子育て中の従業員の急な休みにも有休で対応。 ・短時間勤務(その時々ケースで柔軟に対応)
		工電業 業気	・子育て中の従業員の急な休みにも有休で対応【2件】 ・従業員が安心して働ける企業であるために、月給制や扶養手当、子ども手当を支給している。

地区	所在地	業種	内 容
東予地区	今治市	清掃業	<ul style="list-style-type: none"> ・えひめ子育て応援企業 ・産休・育休の整備。 ・社内子育てチーム立ち上げと、従業員への情報提供。 ・地域ボランティアへの参画。 ・小学校3年生未満の子を持つ従業員が利用できる短時間勤務制度。 ・自宅から近い勤務場所への配置転換制度。
		運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の従業員の急な休みにも有休で対応。
		造船業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休の整備。 ・短時間勤務や育休など(一般事業主行動計画策定済) ・水曜日と給料日は残業なし。 ・子育て中の従業員の急な休みにも有休で対応。
		組合	<ul style="list-style-type: none"> ・残業はない。
		加工業	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の従業員の急な休みにも有休で対応。
		保険業	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学校行事などへは参加できるよう、支障なく対応。
		鉱業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休や育休の取得推進。
		サービス業 ・飲食・	<ul style="list-style-type: none"> ・法的に整備していることの推進(産休や育休取得推進) ・ノー残業デー
		製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・申請通りの休暇。 ・現在(7/7)2名が育休中、復帰予定。 ・学校行事や子どもの急病、親の介護など、家族のための時間に関しては、優先的かつ柔軟に対応している。【14件】 ・子どもが小学生のパート勤務者は土曜日休み。
	熱供給・電気・ガス・水道業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や子どもの急病などでの早退や休暇には柔軟に対応。【3件】 ・産休・育休取得 ・育休からの職場復帰時、子育てしやすいような配属になるよう配慮。 ・短時間勤務 	
	印刷業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や子どもの急病などでの早退や休暇には柔軟に対応。 	
	新居浜市	運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や子どもの急病などでの早退や休暇には柔軟に対応。【2件】 ・子どもの行事に参加しやすい環境作り。 ・産休・育休取得実績有 ・復帰後は 勤務時間を 9:00～16:00(通常 8:00～17:00)に設定する等 子育てに協力している。 ・子育て中の人には 子育てを優先出来る環境作りをしている。
		建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・育児を優先し、急な休みにも柔軟な対応が出来るようにしている。 ・どうしても時間がとれないという人には部署を変えるなどの対応をしている。 ・ノー残業デーを設けている。 ・子どもの行事には 参加しやすい環境にしている【7件】
		卸売業・小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学校行事等は、シフト勤務で対応。 ・女性が働きやすい会社を目指している。 ・時間外勤務を無くしている。 ・子育てを行う従業員の、職場生活と家庭生活の両立を支援するための雇用環境の整備。 ・全従業員の働き方の見直しに資する労働条件の整備。 ・保育園に寄ってから出社できるように、フレックス制度あり。 ・就業時間に融通をきかせて 子育てのしやすい環境を作っている。 ・子どもの行事には 参加しやすい環境にしている【3件】 ・男性の中にも育児の為に、有休を3日程取得する人がいる。 ・産休・育休取得実績有。
		サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内に、保育所がある。 ・産休や育休、及び復職制度。 ・子どもに合わせた、短時間勤務制度・産休。 ・育児休業取得実績有【2件】 ・子どもの行事には 参加しやすい環境にしている。
		電気	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療費一時金支給。 ・産休・育児休業取得実績有。 ・子育て支援チーム編成(支援制度のパンフレットの作成等)

地区	所在地	業種	内 容
東予地区	新居浜市	製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの行事及び病気時の有給休暇を取りやすいようにしている。 ・育児をしながら仕事ができる環境にしている。【2件】 ・子どもの行事には参加しやすい環境にしている。(えひめ子育て応援企業認証済) ・産前産後休業取得実績有。 ・子どもが増えると家族手当を増額支給している。(1人目:5,000円 2人目:6,000円 3人目:7,000円) ・産休・育休取得実績有。 ・育児休業(1年)取得後の、復職を推進している。
		医療・介護	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育児休業取得実績有【4件】 ・子どもの行事には参加しやすい環境にしている【3件】 ・学校行事、子どもの病気時は休めるようにシフト調整している。 ・ノー残業デーの実施。 ・短時間制度有 ・看護休暇(小学校就学前まで)1年間で5日間。 ・時間有休制度有。(年間80時間) ・院内託児所有。(夜間受入可)
		保険業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休・介護休暇を充実させ取得実績有 ・未来を築く子育てプロジェクト
		金融業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育児休業取得実績有【4件】 ・子どもの行事に参加しやすい環境【2件】 ・3人目出産時 お祝い金(200万円) ・勤務地変更制度(配偶者の転勤に適應)
		運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休をはじめ、時差出勤など、ワークライフバランスを考慮した環境を取り入れている。
		情報通信業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休(育休)取得後、復帰できる。
南予地区	内子町	建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休の整備。
		医療・介護	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休の整備 ・家族ぐるみでのイベント
	大洲市	建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休の整備【5件】 ・病院や、学校行事による休みを柔軟に考慮している。 ・極力残業なく仕事を終えるよう努めている。
		小売業・卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休の整備 ・ノー残業デーを設けたり、学校行事等柔軟に考慮し、従業員に有休を取得するよう促進している。 ・子どものいる従業員に対しては、子どもが病気のときなど早退できるように対応している。
		サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休の整備 ・有休の取得促進、子どもの参観日には積極的に出席するように促している。 ・忘年会に家族を招待し、子どもとの交流を図っている。 ・シフト制で、あらかじめ予定を聞き、できるだけ従業員やその家族の都合に合わせた休みが取れるようにしている。 ・休みを子どもの行事優先でとれるように従業員に促進している。 ・子どもの学校行事や、病気での休みに柔軟に対応している。
		医療・介護	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休の整備。 ・退職後の再雇用。 ・子どもの学校行事には柔軟に対応。 ・ノー残業デーを月に1日設けている。
		製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度急な休みもとれるようにしている。 ・産休・育休の取得 ・産休・育休の整備 ・参観日への積極的な参加を促している。【2件】 ・子どもの学校への送り迎えの待ち時間の間、職場で過ごしても良いようにしている。
	西予市	鉄鋼業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事があるときにはなるべく行くように従業員に促す。
		宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業中の人がいる。
		東宇和農協 協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・産休や育休の取得
伊方町	サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休や育休の取得 	
	小売業・卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休の取得 ・子どもの行事等には有休ではあるが積極的にとってもらっているようにしている。 	

地区	所在地	業種	内 容
南予地区	八幡浜市	卸売業・小売業	・産休や育休の取得
		建設業	・産休・育休をとっている従業員がいる。
		サービス業	・子どものいる従業員には扶養手当を支給。 ・産休や育休の取得
	宇和島市	金融業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休の整備 ・社内レクリエーションを多く開催し、男女交流の場を提供している。社内婚も推進している。 ・産休・育休の整備を始め、従業員の子どもが病気や学校行事のときは申請を出して休暇をとることができる。また、第2・3水曜日はノー残業デーとしている。 ・予防接種の推進 ・ノー残業デーの実施。 ・リフレッシュ休暇の整備(本社の就業規定に基づく) ・産休手当等の整備 ・配偶者が転勤になった場合、移転先近辺の支店で就業できるよう対応している。 ・子育て中の従業員が17時30分に退勤できるよう協力しあっている。 ・ワークライフバランスの積極的な取り組み。
		卸売業・小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休の整備 ・育児休業、リフレッシュ休暇、メモリアル休暇の整備 ・年間116日の休みを設け、ワークライフバランスに積極的に取り組んでいる。 ・再就職しやすい環境づくり ・従業員の子どもの学校行事や病気時にはいつでも有休扱いで休暇がとれるよう対応している。
		組合	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の交流会を通して、男女のふれあいの場を提供している。 ・漁協の青年部組織での男女のふれあいの場の提供 ・従業員の子どもの病気時や学校行事の時は有休扱いで対応している。
		製造業	・産休・育休の整備
		保険業	<ul style="list-style-type: none"> ・産休・育休については必要に応じて柔軟に対応している。 ・9時出勤、17時退勤で残業は一切なくすことで、生活の充実を図っている。
		サービス業	・日曜日は完全に仕事を休みにし、平日は残業を極力少なくし、生活を充実させるようにしている。
	愛南町	組合	・産休・育休等の整備

CSR(社外)実態調査

【全体】

	中予		東予		南予		合計	
企業の経営資源を活かしたコミュニティ活動(地域とのかかわり)	80	75.5%	102	70.3%	121	78.1%	303	74.6%
社会的課題への取組み(社会全体)	17	16.0%	33	22.8%	25	16.1%	75	18.5%
社会的事業展開・商品開発	3	2.8%	4	2.7%	3	1.9%	10	2.5%
各種普及啓蒙活動	4	3.8%	3	2.1%	1	0.7%	8	2.0%
良質なサービスの提供	2	1.9%	3	2.1%	5	3.2%	10	2.5%
合計	106		145		155		406	100%

取組み内容については地域差はなく、自社の経営資源を活かした取組み方がどの地域も70%以上を占める。あえて特徴づけるなら「東予は社会的課題への取組み」「南予は地域とのかかわり」を重要視する傾向がある。

【経営資源を活かしたコミュニティ活動一覧】

	中予		東予		南予		合計	
職場体験・インターンシップ等の受け入れ	45	56.2%	63	61.8%	53	43.8%	161	53.1%
子育て支援活動(セミナー・教室・イベント・指導育成等)	8	10.0%	3	2.9%	6	5.0%	17	5.6%
協賛・寄付	6	7.5%	10	9.8%	32	26.4%	48	15.8%
施設の有効利用(託児所・施設開放)	2	2.5%	2	2.0%	1	0.8%	5	1.7%
子どもの安全確保に関する活動(まもるくん・見守り隊・子ども110番)	19	23.8%	24	23.5%	29	24.0%	72	23.8%
合計	80		102		121		303	100%

具体的な活動では、地域間で違いが見られる。

東予地方は製造業が多いためか職場体験・工場見学などの活動が多い。

中予地方はイベント・セミナーの開催による子育て支援が多い。

南予、特に宇和島では寄付による社会貢献活動の割合が高い。

【社会的課題への取組み一覧】

	中予		東予		南予		合計	
ボランティア活動	11	64.7%	27	81.8%	22	88.0%	60	80.0%
エコ活動	1	5.9%	1	3.0%	1	4.0%	3	4.0%
施策への参加・認証取得	5	29.4%	5	15.2%	2	8.0%	12	16.0%
合計	17		33		25		75	100%

社会的課題への取組みのほとんどがボランティア活動。

子育て支援にかかわる取組みということでエコ活動によるCSRの取組みが県内全域において低調であるように見える。

東・中予で行政による施策に対し積極的参加企業が多い。

CSRの実態調査

●社外向けのCSR活動

地区	所在地	業種	内 容
中予地区	松山市	卸売業・小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの受け入れ【4件】 ・職場体験【8件】 ・第4土曜に「読み聞かせ」を実施。 ・父の日や母の日には近所の幼稚園児の描いた似顔絵を掲示。 ・まもるくんの会社として、出入り口にステッカーを掲示【3件】 ・「こども110番ネットワーク」等のプレートの掲示。 ・電光掲示板設置、屋外用防犯カメラの設置。 ・学生の意識改革支援を行っている。 ・運動会へ協賛 ・まもるくんステッカーを貼っている。民生児童委員として学校へ行く学生の班につきそったりしている。 ・公民館における行事の手助け ・赤い羽根募金の推進 ・愛媛FCへの後援 ・坊っちゃん劇場への協賛 ・インターンシップへの前向きな取組み ・あしなが育英会への支援。 ・地域祭りなどへの協賛。
		サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てタクシー……小さい子どもを連れてお客様へのサービスの提供や子どもだけの送迎など。研修と保育実習を終了したドライバーによる運転と子育て支援。(全国子育てタクシー協会に加盟)「まもるくん」や「子ども110番」の取組み。 ・車庫見学、海洋少年団、ファミリーの集い、交通まちづくり学習を実施。 ・会社近隣の清掃活動を行っている【2件】 ・声掛け活動の実施。 ・パトロールを行い、若者たちの安全を図る。 ・職場体験の受け入れ【3件】 ・障がい者の実習受け入れ、雇用の推進。 ・民生委員として、養護学校への見学。 ・えひめ家庭教育企業連携事業で認定証を取得済み。 ・まもるくんの家 ・小学校で安心教室を開催している。 ・職場見学の受け入れ。
		飲食・サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚支援センターの応援企業 ・2ヶ月に1回、子どもたちに絵本の読み聞かせを実施している。ピアノの伴奏とともに、プロのアナウンサーに読み聞かせをしてもらっている。
		建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・家族向けのイベントで壁塗り体験を実施している。 ・従業員の家族や地域住民に向けて出店などを出して感謝祭を実施している。 ・まもるくんステッカー【3件】 ・敷地周辺の大掛かりな清掃活動 ・大学生のインターンシップを実施【2件】 ・以前は子供見守り隊として活動していた。現在は独居老人の見回りをしている。 ・地域事業への積極的な取組み。
		製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通して青少年の育成に尽力。 ・一般の方の工場見学の実施(子どもから大人まで)【2件】 ・インターンシップの受け入れ。
		医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生に対して実習体験を1~2週間行っている。 ・えひめ家庭教育サポート企業連携事業を行っている。 ・職場体験やインターンシップの受け入れ【4件】 ・職場見学の受け入れ。
		印刷業	<ul style="list-style-type: none"> ・えひめ家庭教育企業連携事業で認定証を取得済み。 ・学校の授業の一環として、職場体験実習を受け入れる。 ・会社周辺の清掃活動、ロードヘルパーを実施。 ・地域や家庭で子どもに自然体験をさせる事が大切であると考え、地域のお祭りで見こしのリーダーをしている。
		情報通信業	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の職場体験も毎年実施。HP作成を体験してもらっている。 ・敷地周辺の大掛かりな清掃活動(年2回) ・職場見学の受け入れ。
		運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ・のびのび子育て応援隊に登録している。 ・ファミリーフレンドリー(仕事と家庭の両立)を目指す活動を独自にすでに行っている。

地区	所在地	業種	内 容
中予地区	松山市	不動産業	・運営している梅林園で、学生に梅干作り等の体験をしてもらっている。
		保険業	・ワークライフバランスセミナーの実施。
		学習・教育・支援業	・「のびのび子育て応援隊」認証取得 ・無料託児室の完備。 ・幼稚園児や小学生に職場見学を年に4～5回実施している。【4件】 ・正門前に警備員を常駐させ、周囲の警備もさせている。 ・子育て相談、預かり保育などの保育事業の展開。 ・園庭開放、預かり保育を行っている。
		娯楽業	・他社と協力して地域見守り隊を行えるよう検討中である。
		宿泊業	・子どもの職場体験
	東温市	小売業・卸売業	・インターンシップの受け入れ ・工場見学
		製造業	・工場見学 ・職場体験の受け入れ ・社用車へのまもるくんステッカー貼付
	松前町	小売業・卸売業	・企業の実施している活動を管理している。 ・職場見学の受け入れ ・スポーツを通じた青少年育成活動。
	砥部町	製造業	・あいさつ運動の看板設置。 ・社用車へのまもるくんステッカー貼付
	伊予市	製造業	・地域小学生の職場見学受け入れ【2件】 ・職場体験の受け入れ ・食育を目的とした講義の開催。
東予地区	今治市	卸売業・小売業	・職場見学、町探検等【14件】 ・インターンシップの受け入れ【2件】 ・元気な集落づくり応援団登録(愛媛県総務部新行政推進局) ・まもるくんの家ステッカーを貼り、地域の子どもの安全を守る【14件】 ・今治市子育てファミリー応援ショップ加盟 ・ペットボトルキャップの回収等。 ・商工会議所でボランティア活動。 ・ボランティア活動【2件】 ・保護者として横断歩道で地域の子どもの安全確保。 ・日本赤十字、ユニセフに定期的に寄付 ・清掃活動【2件】
		建設業	・今治建設協会でのボランティア活動。 ・清掃活動【5件】 ・献血活動 ・小学校の運動会の時、駐車場を開放している。 ・小学校に近いので、通学途中、目にして覚えてもらえるよう会社の壁に大きな標識を5枚ほど貼っている。(標識は3ヶ月ごとに違うものに交換している。) ・町内パトロール ・交通茶屋 ・自治会活動 ・ボランティア活動(清掃美化など) ・職場見学の受け入れ【4件】 ・社用車へのまもるくんステッカー貼付。 ・インターンシップの受け入れ
		サービス業	・まもるくんステッカーを貼り、子どもの安全を見守っている。【3件】 ・小中学生向けのものづくり体験会 ・毎月一回、ミニコミ「こちらいまばり」無料配布、22年間継続中。 ・職場見学受け入れ ・お客さまの子どもの無料託児や送迎をしている。 ・職場体験の受け入れ

地区	所在地	業種	内 容
東予地区	今治市	製造業	・職場体験 ・インターンシップの受け入れ【4件】
		運輸業	・通学路の交通安全掲示板協力。 ・まもくんステッカーを貼り、子どもの安全を見守っている。 ・登下校中の小中学生に声かけ。
		鉄鋼業	・校区子ども見守り隊活動への参加。 ・寄付(日本赤十字社、ユニセフなど) ・社用車へのまもくんステッカー貼付。 ・職場体験の受け入れ
		医療・福祉	・施設利用者送迎用のマイクロバスを地域のスポーツクラブへ貸出。 ・職場見学・小学生の町探検受入【2件】 ・横断歩道で地域の子どもの安全確保。 ・インターンシップ制度
		ガス・電気	・子ども110番パンフレット、ステッカーを貼っている【2件】 ・大学生や専門学生のインターンシップ制度
		学習支援・教育	・若年者の就業教育や訓練
		娯楽業	・周辺自治会に協力費
		造船業	・職場見学の受け入れ ・職場体験の受け入れ ・インターンシップの受け入れ
		保険業	・ピンクリボンの活動協賛
		印刷業	・現在、育児休業取得中の従業員がいる(1名)。 ・えひめ子育て応援企業の認証を申請中。 ・チャレンジ25キャンペーンにも参加し、エコ活動にも取り組み。
	新居浜市	金融業	・子ども向け講演の開催(「お金の使い方」等)
		医療・福祉	・職場体験の受け入れ
		サービス業	・職場体験の受け入れ【3件】 ・地域の清掃活動。
		ガス・電気	・職場体験の受け入れ ・電化クッキングの体験会
		運輸業	・イベント開催
		建設業	・職場体験の受け入れを実施している。【3件】 ・地域の運動会に協賛企業として参加。 ・地域の清掃活動
		製造業	・職場体験や、インターンシップに協力している【4件】 ・地元のスポーツ少年団へ寄付している。
		研究開発	・他社と共同事業で保育所を経営し、利用している。
		卸売業・小売業	・子育てネットワークえひめに参加(子連れでもお店に入りやすくするもの) ・職場体験の受け入れ
		西条市	建設業
石油業	・職場見学の受け入れ		

地区	所在地	業種	内 容
東予地区	四国中央市	製紙業	<ul style="list-style-type: none"> ・道路や河川の清掃【7件】 ・保育園や幼稚園に自社製品の提供【4件】 ・インターンシップの受け入れ【3件】 ・環境に配慮したエコ製品を作っている【2件】 ・会社の敷地に隣接する通学路の清掃美化活動【2件】 ・スポーツ大会などに寄付。 ・職場見学の受け入れ【3件】 ・社用車へのまもるくんステッカー貼付。 ・通学路沿いの老朽化した倉庫の整備。
		製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・グッドカンパニー大賞・優秀企業賞受賞の賞金100万円を市役所に寄付し、それが川之江児童館の芝生となった。
		金融業	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験の受け入れ ・インターンシップの受け入れ
		工設備	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣的环境美化に努めている。
		印刷業	<ul style="list-style-type: none"> ・献血活動
		福祉・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験の受け入れ
南予地区	宇和島市	卸売業・小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・市のお祭寄付【9件】 ・子育て協力店 ・職場体験【11件】 ・福祉施設に寄付【2件】 ・まもるくんステッカー【6件】 ・オレンジロード(校区の花の手入れ) ・ボランティア清掃【7件】 ・少年補導センター補導委員 ・アグリスクール ・民生委員 ・補導指導員 ・赤い羽根募金【2件】 ・子ども110番(愛媛県整備協会) ・少年野球や小中テニス寄付 ・スポーツ教室 ・野球団体の活動費協力 ・漁業ツアーを行っている(家族連れで釣りを楽しむ) ・会社見学受け入れ【2件】 ・インターンシップの受け入れ ・社用車へのまもるくんステッカー貼付。
		サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験【4件】 ・えひめのびのび子育て応援隊 ・福祉施設に寄付 ・市のお祭りに寄付【2件】 ・交通安全協会の交通茶屋や市のお祭り警備に協力している。 ・まもるくんステッカー貼っている。 ・みどり寮に寄付をしたり、30年間アルバイトの受け入れをしている。 ・地域の小学校に補助している。 ・盲導犬・海難事故・みどりの羽根など募金活動も行っている。 ・社用車へのまもるくんステッカー貼付。 ・インターンシップの受け入れ
		飲食・サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・青パト ・職場体験の受け入れ ・赤十字寄付 ・年二回子ども達にお菓子の寄付
		建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・市のお祭りに寄付 ・ボランティア清掃【2件】 ・組合でパトロールしている ・赤い羽根募金 ・職場体験の受け入れ ・会社見学の受け入れ
		娯楽業	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子寄付 ・市のお祭りに寄付 ・福祉施設寄付
		情報通信業	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア清掃【2件】 ・赤い羽根募金 ・市のお祭りに寄付【2件】 ・まもるくんステッカー【2件】

地区	所在地	業種	内容
南予地区	宇和島市	熱供給・電気・ガス・水道業	・エネルギー事業 ・料理教室 ・地域イベント参加 ・ボランティア清掃 ・マッチング事業【2件】
		学習支援業	・子育て支援 ・赤い羽根募金 ・まもるくんステッカー ・体験入学の受け入れ
		専門学術・研究・技術	・CO2削減
		金融業	・職場体験の受け入れ【2件】 ・社用車へのまもるくんステッカー貼付【2件】 ・地域の小中学生対象に「山の学校」「海の学校」などを実施し、キャンプファイヤー等を通して親子の交流を深めている。
		組合	・従業員の子どもの学校行事には積極的に参加させるなど、子育てには全面的に応援・協力している。 ・職場見学受け入れ【2件】 ・町の活性化を図るため、今年度は婚活事業を積極的に行う。 ・社用車へのまもるくんステッカー貼付。 ・漁業について学ぶ場を提供
		保険業	・地域の子どもたちの遊び場を開放・監視することで、安全を守っている。
		広告業	・地域の学校の壁画に世界の偉人の絵を描き、その偉業を伝えることで、子どもたちの精神面発達のお手伝いをしている。
		製造業	・社用車へのまもるくんステッカー貼付。 ・インターンシップの受け入れ。
	運輸業	・ボランティア清掃	
	西予市	小売業・卸売業	・職場体験の受け入れ【2件】
		サービス業	・職場体験の受け入れ
	愛南町	小売業・卸売業	・まもるくんのステッカーを配送車に貼っている。 ・職場体験の受け入れ
		組合	・職場体験の受け入れ
	八幡浜市	小売業・卸売業	・職場体験の受け入れ ・高校教諭の就労体験 ・食育活動 ・まもるくんステッカー
		小売業・卸売業	・職場体験の受け入れ ・食育活動
製造業		・職場体験の受け入れ	

地区	所在地	業種	内 容
南予地区	大洲市	建設業	・職場体験の受け入れ【3件】 ・近所の学校行事の際に、トイレや駐車場を貸し出ししている。 ・地域の子どもたちが利用する施設を直している。
		医療・介護	・職場体験の受け入れ
		製造業	・職場体験の受け入れ【2件】
		小売業・卸売業	・職場体験の受け入れ【2件】 ・地域のボランティア活動や、地域の町おこし行事に参加している。 ・まもるくんの家
		サービス業	・インターンシップの受け入れ ・社用車へのまもるくんステッカー貼付【2件】 ・地域の奉仕活動に参加 ・職場見学の受け入れ【2件】 ・子ども見守り隊
	内子町	サービス業	・職場体験の受け入れ【2件】 ・地域の見守り隊への参加
		建設業	・職場体験の受け入れ【3件】
	鬼北町	その他	・ボランティア清掃 ・子ども見守り隊 ・パトロール

行政に対する要望調査①<全般/経営・財政・政治/補助金/雇用>

【全般】

		意見数	割合
1	施策の優先順位に関する意見要望(計画以前)	18	50%
2	施策の視点に関する意見要望(計画時)	9	25%
3	具体的な内容改善に関する意見要望(計画実施時)	5	14%
4	普及啓発に関する意見要望	4	11%
合計		36	100%

- ・教育のあり方を問題視する意見が目立った。
- ・地域特性の考慮を望む声が多い。地域間格差の広がり注目。
- ・人材の流出を危惧する意見や、地域の魅力を増進する要望も。

【経営問題・財政問題・政治関係】

		意見数	割合
1	社会情勢に関する意見要望	12	48%
2	需要創出に関する意見要望	7	28%
3	企業の負担軽減に関する意見要望	6	24%
合計		25	100%

- ・社会情勢不安を反映してか、政治の安定を望む声が多数聞かれた。

【補助金関係】

		意見数	割合
1	種類・対象に関する意見要望(新しいもの)	2	17%
2	内容に関する意見要望(既成のもの)	4	33%
3	申請に関する意見要望	4	33%
4	認知・普及に関する意見要望	2	17%
合計		12	100%

- ・申請手続きの簡素化を望む意向が強い。
- ・既にある制度も要望として挙がっていたりするので認知普及はさらに精度を高める必要がある。

【雇用関係】

- ・雇用機会の創出が重要、という意見が大多数ではあるが課題は多岐にわたり絞り込めない。
- ・正規・非正規従業員、新卒・中途採用、復職・再雇用の複数問題、ならびに限られた市場の中での雇用バランスが企業に求められ、そこが景況回復を望む声に反映されるという連動パターンに陥っている。

行政に対する要望調査(ヒアリングによる個別事項)

参考資料

※ 類似意見は件数でカウント。

【全般】

- ・各市町村との連携を密にし、地域ごとの少子化の現状を細かく分析し、その町に合わせた施策を実施してほしい。(4件)
- ・「えひめ・未来・子育てプラン」がある事自体を知らなかった。(3件)
- ・施策として少子化対策を考えるなら、まず出生率の将来目標数を立て、それに応じた対策を計画していくことが肝要である。
- ・良い事業をされている。今後も続けて欲しい。
- ・地方における保育園、学校、病院の整備。地方と都市部の格差の是正。
- ・少子化対策は大切な問題で、県がどんどんやっていかなければならない問題であると思う。
- ・少子化対策をすることは良いことだが、企業にばかり負担をかけるのではなく、国を挙げて取り組むことが必要になってくるのではないかと。まず、法律を変えていかなければならない。
- ・少子化問題は教育の見直し、特に礼儀作法の徹底から入るべきである。
- ・県は少子化対策をもっと本気になって県職員全体で取り組むべきである。
- ・愛媛県は他県に比べると、少子化対策が非常に進んでいるように思う。この調子でどんどん普及して欲しい。
- ・小さな企業では規則的に整えなくても従業員同士助け合っている。制度を整える事だけが良いのかどうかは疑問である。
- ・子育てを企業に還元するような制度を作っていかなければいけない。
- ・県内の人材が県外へ流出してしまっているのは県内の環境に魅力を感じないからではないか。魅力ある環境作りが必要なのでは。
- ・企業の活性化と、技術力の国外への流出を防ぐことを切望。
- ・社員の権利と義務があるが、権利だけ主張されると企業の雰囲気が悪くなってしまふ。経営者からどんどん休みを取りなさいとは言えない。
- ・県や国からの助成制度は知らないことが多いので、周知を徹底して欲しい。
- ・会長と社長の集いより社員の集まる会の催しも必要ではないか。
- ・若い世代の人材確保、養成。
- ・関連企業の横の繋がりが必要。
- ・企業強化のための施策の実施。

< 経営問題・財政問題・政治関係 >

- ・政治の安定と雇用の創出(7件)
- ・まず、景気回復、雇用問題回復等で収入が安定しないと、結婚、出産は難しいのでは。
- ・結婚支援の施策は素晴らしい事だとは思いますが、景気回復や収入安定という根本がしっかりしてからだと効果も出ると思うが、今はまず生活と雇用の安定だと思う。

- ・中小企業が安心して、仕事を続けることのできる体制に整えて欲しい。
- ・中小企業への支援を増やして欲しい。
- ・公共工事をもっと多く出して欲しい。仕事が増えてくれば、結婚や子育て等支援もできるが、今はそちらよりも、自社を存続させるのが精一杯である。
- ・企業の経営状況も厳しい中、なかなか子育てに向けての仕事環境を整えるのは、難しい。
- ・企業を取り巻く状況は厳しく、建設業は仕事が激減。自分が生活をするのも大変であり、結婚をするのは難しい。
- ・中小企業は食べていくのに必死。いろいろ企業に要求されても困る。
- ・まずは国を挙げてすべきことがたくさんあるはず。「子ども手当」の前に、もっと保育園を増やしたり、延長保育をできるようにしたり、給食費を国で払うようにしたり、そういったことから整備していくべきである。
- ・少子化に対する対策をもっと早く始めるべきだったと思う。家庭・地域・社会・企業で子育てしやすい環境にするのはいいと思うが、国をあげて金銭面でも子育てしやすい環境を作っていくべきである。
- ・不況のため、若い子を雇い育てる余裕がない。給料が出せない。
- ・就業規則、労使協定にいろいろなことを盛りこむことによって、今まで臨機応変に対応してきたことが逆にぎすぎすしてやりにくくなってしまふ。制度化するのは大企業にとってはいいが、中小企業にとってはやりにくくなるのでは。
- ・少子化問題に加え、子育て中の医療問題や介護問題も真剣に取り組んでほしい。
- ・男性の給料をUPできるようにし、家庭の時間をもてる環境づくりが必要である。
- ・介護の仕事は、重労働なのに、見合った給料が出せない。需要はあるのに働き手が少ない。

< 補助金関係 >

- ・事業所内に保育施設を作る際に補助金を出して欲しい。(4件)
- ・補助金は一時金に過ぎないので、長期的な雇用の為の助成金制度にしてほしい。
- ・子ども連れのお客様にやさしい設備にしたいので、その設備設置の助成がほしい。
- ・補助金や助成金を受ける場合に、提出書類が多すぎる。審査の内容を簡潔にして欲しい。
- ・助成金利用の手続きが面倒だ。本当に必要な時に利用したいが、手続きが煩雑すぎて、仕事をしながら手続き方法を読み込んで進めていくのは大変。
- ・行政への手続きや届出等が多すぎて、少人数で業務をしているのでとても負担である。
- ・助成金をもらうのにも、書類が多く手続きが面倒なのでもらったことがない。大きな会社は、担当者がすればいいが、小さな会社は全部社長がしないといけない。もう少し簡素化してほしい。
- ・助成金などの制度や施策など、周知されていないので県のHPのトップで紹介してみてはどうか。
- ・愛媛県独自で行っている助成金等あれば周知してほしい。

- ・企業に対する補助金を出してほしい。(代替要員確保のためなど)
- ・愛媛県独自の助成金とか、子育て優遇税制とかを検討してはどうか。
- ・国からの結婚祝い金制度。
- ・育児介護休業法もそうだが、企業への負担が大きい。万人受けする事ばかりを言うがそれを実行するために必要な費用の補助や助成金など、施策を実現するために必要な事を考えてほしい。
- ・育児世代の母親に優しい企業として、行政からのバックアップが欲しい。例えば、助成金とかマスコミでの紹介など。

< 雇用関係 >

- ・技術をもっている方には、やはり子育て終了後にも職場へ戻ってきてほしい。
- ・国や県の財政を雇用促進(派遣ではなく正社員)にもっと使うべきだ。
- ・少子化問題は色々な要因がリンクして起こっているの、社会の土壌が整備されないと解消されないのでは。まずは労働条件・勤務条件を整える必要がある。家族手当や扶養手当が減ったり無くなったりしているので改善できる方法を考えてみては。
- ・若年者に対する雇用の場の確保と景気対策。
- ・男性の積極性がなくなっているのもあるかもしれないが、安定した収入や雇用がない為に消極的になってしまうのとも考えられないか。安定した雇用対策が必要なのでは。
- ・定年を迎えた方々が無理のない程度に働ける環境を整備し、生産人口の幅を広げる。(2件)
- ・現場は高齢になってきており、後継者不足が懸念されている。現場としては新規採用も経済的に厳しいし、だからといって退職してからの雇用となると技術継承が難しく、どうしていいかわからない。これから少子高齢化が進んで、どうしたらいいかの具体策を考えて欲しい。

行政に対する要望調査②<結婚支援 / 子育て>

【えひめ結婚支援センター】

		意見数	割合
1	企画内容に関する意見要望(既存)	12	21%
2	企画内容に関する意見要望(新規)	14	24%
3	婚活ターゲットに関する意見要望	21	36%
4	普及啓発に関する意見要望	11	19%
合計		58	100%

- ・幅広い視点で興味深い意見が多く集まった。
- ・結婚と恋愛のステージを明確に別けることでより高い成果が見込める。
- ・人口減少問題に深刻な問題意識を抱えている過疎地域などへの対応。
- ・セミナー内容の充実・多様化。など、より踏み込んだかわり方を求める声が多い。

【子育て】

< 幼稚園・保育園・託児所関係 >

		意見数	割合
1	施設／ハード面(職員配置基準見直し、施設不足見直し等)に関する意見要望	40	54%
2	施設／ソフト面(利用時間帯、料金等)に関する意見要望	21	28%
3	企業他支援・制度に関する意見要望	13	18%
合計		74	100%

- ・ハード面の充実を求める声が圧倒的ではあるが、保育料の見直しなどと合わせて考察するに生活のために働かざるを得ない状況である。

< 子ども手当 >

- ・少子化対策に絡めての聴き取りなので否定的な意見が殆ど。
- ・代替策として具体的な提案の読み取り可能がポイント。

< 病時保育 > < 不妊治療 >

- ・どちらも需要度が高い。
- ・特に不妊治療は直接的に少子化対策に結びつくことから企業側からの進言も多かった。

< 環境整備 >

- ・今後、地域コミュニティの在り方が子育て環境整備に重要な役割を果たすものと思われる。

< 産休・育休 >

- ・中小企業に特化した優遇措置、ならびに職種特性に応じた取得促進制度など、費用負担の軽減を望む意見が多数。

< 小学校以上 >

- ・教育費負担軽減策、若年者雇用企業に対するトライアル雇用期間の延長、共働き世帯子どもへのケアなどを重要視する意見が集まっている。

< 行政 >

- ・「景気回復」をキーワードにする意見が圧倒的だが、「地元意識の醸成」が次に来る。

行政に対する要望調査(ヒアリングによる個別事項)

* 参考資料 *

※ 類似意見は件数でカウント。

【結婚支援】

- ・もっと大々的に婚活事業のPRをしていくべき。(6件)
- ・農業従事者への結婚支援にも力を入れて欲しい。(5件)
- ・様々な政策もわかるが、若い世代が弱体化している。強く逞しい人間に育ててもらふ為にも、道徳教育も含めた教育内容の抜本的な見直しが必要。(6件)
- ・南予地方でのイベントの頻度を増やし、もっと気軽に参加できる場を提供してほしい。東中南予にそれぞれ支部を設置し、センターの職員の増員を図る等。(4件)
- ・婚活イベントというと参加者が構えてしまい参加しづらいので、本気で結婚を望む人が気軽に集えるお見合い場所を設置したら効果的なのでは。(3件)
- ・年齢層を区切ったイベントの実施(3件)
- ・外国人を導入し、経済の発展と共に結婚を促してはどうか。(3件)
- ・応援企業、協賛企業としてのメリットの増大(2件)
- ・未婚化・晩婚化の背景に男性の軟弱化が挙げられるのではないか。インドア派からアウトドア派となるような意識改革・身体改革が必要である。(2件)
- ・女性よりも男性が消極的なように感じる。(2件)
- ・同じ趣味の人を集めてイベント開催やツアー企画をすれば効率が良いと思う。(2件)
- ・障害者の出会いの場も設けて欲しい。(2件)
- ・実際の婚活イベントを知る上でも、また不況の中、結婚相手に公務員を希望する女性も増えていると聞くので、ぜひ独身の県職員にもイベントへ参加してもらいたい。
- ・えひめ結婚支援センターの宣伝をさわやか愛媛(月一の新聞折り込みチラシ)に載せてみたらいいのでは。
- ・独身の教師の方が多いので、えひめ結婚支援センターの普及で学校を回ってみてはどうか。
- ・結婚しない人に対しては教育から変えていかなければならないのでは。
- ・えひめ結婚支援センターのイベントで同じ職種同士のイベントを行ってみてはどうか。

(例：介護職等)

- ・表情筋の講習を受け、とても良かったので今も続けている。感情や行動をすぐに変えるのは難しいが表情はすぐに変えられるし効果も現れやすいので、結婚支援センターのセミナーに積極的に参加すべき。
- ・過疎地の人口を増やしていけるような施策が必要であり、えひめ結婚支援センターの過疎地のイベントを増やしてほしい。
- ・婚活イベントについては自衛隊や警察など、出会いのない職業の方向けのイベントをもっと開いたほうがいいのでは。
- ・結婚支援のセミナーを開催するのであれば、勤務時間内での時間設定を希望する。(近頃の若い人は会社関係の集まりでも土日や時間外を極端に嫌う傾向があるため)

- ・結婚云々といった仰々しいタイトルではなく、シリーズもののビジネスマナー講座などとして出来るだけ自然なかたちで出会いの場を提供してはどうか。
- ・昔は貧しく結婚しないと生きていけなかったが、現在は豊かになっているから結婚しないのではないか。そう考えると、出会いの場を提供しても難しいのではないか。
- ・結婚後のフォローもしなくては、少子化対策にはつながらないのではないか。
- ・女性はイベントになかなか当選する事ができない。
- ・男性の情報がわかるようにするなど、対応が必要ではないか。
- ・結婚支援センターを、もっとメディアに取り上げてもらい、アピールしてはどうか。
(例：結婚した方たちの成功例を取り上げ、取材するなど)
- ・結婚支援のメルマガ登録者が増加しているのは良いが、カップルになって、ある程度抜け、減少していないといけないのではないか。
- ・結婚活動のみの目的の場には男性は参加しにくいのではないか。
- ・見合い形式のイベントや相手が解かるシステムが必要。
- ・結婚支援センターの宣伝方法を見直す。もっと若い年齢の参加者を増やせば、更に盛り上がっていくと思う。例えば、CMを少し流すことで幅広い年齢層にも知っていただけと思う。
- ・婚活で職業を言ったら、建設業は今厳しい現状なのでモテないのでは。
- ・島嶼部には独身者が多い。地場産業を活性化させるためにも少子化対策は重要。
- ・中予ばかりに政策の力が集中している様に感じる。東予や南予では現状が違うので地域に合わせたきめ細かい取り組みが必要。
- ・参加者の不安を払拭できるPRを強化する。(県の運営と言っても不安を感じる人が多い)
- ・結婚、子育てに対する夢を持てるような啓発セミナーの開催。
- ・婚活イベントに参加する男性の魅力を引き上げるセミナーの開催。
- ・離婚率を下げるための支援策を具体的に取り入れてほしい。
- ・未婚化・晩婚化・離婚率の上昇は、自分本位な考え方にもあるのではないか。幼いころから道徳教育や心の生涯教育を改めて考え、実施するべきだ。
- ・少子化の為の婚活イベントを広めたいのであれば、企業訪問よりは、テレビなど一般人向けの告知ツールの方が効果的ではないか。
- ・アンケート等の紙ベースではなく、婚活イベントに参加した人の生の声をもっと聞いていくべき。
- ・若い人が安定志向になっているのは、やはり政治や経済に不安を持っているから。そのような状態で子どもを産めというのは無理がある。
- ・婚活を進めている近県同士の合同イベントをしてみてもどうか。
- ・結婚支援センターのスタッフの人数を増やしてイベントの回数を増やしてはどうか。
- ・県が行っているという事自体、固いイメージを与えてしまう。結婚をしてもらいたいのであれば民間に任せ、世話焼きおばさん達を中心となってしてもらおうほうが良いのではないか。

【子育て】

< 幼稚園・保育園・託児所関係 >

- ・待機児童の問題を何とかしてほしい。(9件)
- ・病児保育を増やしてほしい。働く女性の味方になる。(4件)
- ・放課後の預かり保育や、長期休みの際の学童保育などできる施設を作って欲しい。(5件)
- ・一時預かりをしてくれる保育所を増やして欲しい。(3件)
- ・退職した保育士・看護師の再雇用のための研修などを助成してほしい。(3件)
- ・保育時間の延長をして欲しい(4件)。
- ・育休取得出来ても、休業明けに保育所に入れず待機児童になる場合が多々あるので保育所の増設を。
(6件)
- ・自治会や地域と協力して子どもたちを守っていくような施設を作ってほしい。(2件)
- ・保育所が少なく経済的にも不安定な状況なので、子育てのしやすい環境を作って欲しい。(2件)
- ・土日が休みの企業ばかりではないので、保育所に対応して欲しい。(2件)
- ・子育ては個人や一企業では難しい。国・県・市・地域全体で取り組んで欲しい。(2件)
- ・細かい保育が難しくなると思われるので、幼保一元化は考え直してもらいたい。(2件)
- ・保育所について、個人に預けたり無認可保育所などは高額だったりするので働いている意味がない。
働きたくても子どもを預ける所がなくて働けない方が大勢いるので、保育所整備を早急にしてほしい。(2件)
- ・親の子どもに対するしつけの責任転嫁の改善。(2件)
- ・保育園の料金が高く預け入れが困難になっている。保育料を下げるか無料にして欲しい。
- ・放課後児童クラブの預け入れ年齢の見直し、改善。
- ・乳児保育の充実。
- ・地域ごとの保育預かり施設を早急に検討してほしい。
- ・実家が遠方にある人でも安心して子どもを預けられ、職場復帰できる保育施設の充実を望む。
- ・保育所受入が難しい方の、ベビーシッターや託児所利用時の補助金制度。
- ・子どもを預かる施設が少なすぎるので、子どもが病気をしたときは会社を休まないといけない環境が
現実にある。
- ・施設の認可だけでなく無認可の助成も含め、設置をして欲しい。
- ・収入によって公立保育園の保育料が違うのはわかるが、病欠時は通園していない日数分、保育料を割引する等のフォローを望む。
- ・助成金等のお金より、保育サービスの充実に力を入れて欲しい。
- ・保育士の雇用環境の整備を行うことで、保護者も安心して預けることのできる環境ができる。安心して預けることのできない保育所では意味がない。
- ・働いていないと保育所に入れないのはおかしい。仕事を決めてから保育所を探さなければならないのでは、保育所の定員枠が空かない限り仕事が出来ないのでは。

- ・待機児童問題が先決。有休消化後のイレギュラーな欠勤に対する補助があればより柔軟に対応できる。
- ・個人事業主なので子どもを産んでからの仕事量が激減した。保育施設の更なる充実を願う。保育料の不公平や入園規定の緩和については再考すべきではないだろうか。
- ・保育園や介護施設の充実。
- ・出生や育児(幼稚園や保育園等)の手当の充実。
- ・幼稚園、保育園の無料化。
- ・保育園が少ないと言われているが、職員を正職員としてどんどん採用して、待遇をよくすることで、保育園を増やすことができるのではないか。
- ・託児所は女性も両立しやすくする為に時間を延長したらいいのでは。
- ・県営の託児所をつくってみてはどうか。
- ・企業に託児所があると1番いいと思うが費用的に難しい。もっと援助があったらいい。
- ・保育園への入園条件の緩和。(仕事が先か、保育園が先か)

< 子ども手当 >

- ・子ども手当の支給方法や時期の変更を考えて欲しい。(金銭ではなく、後に残る施設や人材への充当。子どもが小さい時期より支給の必要を感じるのは高校生以降)現金よりも、育児環境整備が必要。(10件)
- ・子ども手当は必要ない。滞納や未納をなくすため直接給食費へまわして欲しい。(6件)
- ・子どもの虐待など、人間としての教育が足りないと思う。お金のばらまきよりももう少し、教育に力を入れて欲しい。(4件)
- ・出生・育児に対する手当の、より一層の充実を望む。(4件)
- ・子ども手当も財源不足でどこから持ってくるかの話をされているが、もう少し保育施設への投資をしてほしい。(3件)
- ・子ども手当は一律額支給という点が駄目だと思う。富裕層の方々への給付額を減らすなど、本当に困っている人に回せるように考えて支給して欲しい。(2件)
- ・子ども手当の意味がない。実際にどのように使われているかもわからないし、それができるからといって子どもを産もうとは思えない。地域によって少子化問題の取り組み方は違うので、各地域にあった取り組み方法を考えるべきだと思う。(中予=待機児童、南予=過疎化などに取り組む)
- ・一人っ子の家庭が増えている背景には、子どもが欲しいが経済的な理由であきらめているケースが多いのではないか。1人目よりも2・3人目の出産に対し手厚い手当を望む。(2件)
- ・出生を年間60万人増やすため1人目200万、2人目300万、3人目500万の祝金を支出し年間2兆円予算組みを検討したほうが現実的ではないか？
- ・給付金ではなく、四国中央市の行っている紙おむつ贈呈の様な継続出来る物資の支給を。
- ・子ども手当を廃止して託児所をつくった方がよいのでは。

- ・子どもが3人以上になると家計にかなり負担がかかり、出産を考える人も増えると思う。
3人以上の子どもを持つ親に対する補助を行ってはどうか。
- ・給食費が未払いの親にも支給されるのでは、子ども手当が有効な支援策と思えないので廃止したほうが良いと思う。
- ・出産や出産後の小学校へあがるまでがお金がかかるので費用を負担してはどうか。
- ・夫婦2人と従業員1人で営業しているが、子どもを保育園に預ける際、市役所に行ったら自営業だったら融通がきくでしょうと言われ、なかなか入れてもらえず大変困った。託児所や保育所など受入体制を整えてほしい。
- ・子ども手当より、長期的視野に立った政策が必要。景気が良くなると少子化も改善されない。
- ・子ども手当の財源に不安を感じる。もっと出費を抑えるような施策を考案するべきではないか。

< 病児保育 >

- ・まだまだ病児保育をしてくれるところは少ない。保育園だとどうしても子どもが病気になったときに親は仕事を休んで迎えに行かないといけなくなるので大変である。
- ・託児施設に子どもを預けていて病気やけがをした場合、迎えに行き病院へ連れて行かなければならないが、すぐに行けない事もあり、とても気掛りである。施設から病院へ連れて行ってもらえるなど連携を取れるようにしてもらえると助かる。
- ・病児サポートセンターのような制度の充実。(金額的、制度的に利用しやすいもの)

< 不妊治療 >

- ・不妊治療等にかかる医療費の見直し。(3件)
- ・不妊治療・妊娠時の検診の費用を無料化か何割か負担する計画を立てないと、負担が大きすぎるのではないか。
- ・不妊治療に対する行政からの支援が重要であると考える。
- ・不妊治療まではいかないが、なかなか妊娠できない人への支援がもっと必要なのではないか。
- ・共働き世帯の増加等により、精神的に疲れている人も多い。精神的な支援もなければ、妊娠するのは難しい。

< 環境 >

- ・仕事をしながら子どもを産んで育てられる環境作りを。(3件)
- ・大人の目が届く、公共の子どもの遊び場所を増やして欲しい。(3件)
- ・経済対策。安心して子どもが産める社会づくりを。(2件)
- ・空いている教室等を改装して、子育て経験が豊富で時間に余裕のある年代の方達にみてもらえるような施設を作ってみてはどうか。(2件)
- ・観光施設の充実を図ってほしい。地域の活性化により、少子化や人口減少に歯止めをかけて欲しい。(2件)

- ・なぜ働く母親のことを考えていただけないのかといつも思う。働きたくても働けない人はたくさんいる。目線が違うのではないかと思う。
- ・子どもを産んでも預ける場所がないので働くことが出来ない。働く所が見つからないから子どもを預けられない。働きたいのに働けない現状をどうにかしなければ、少子化はどうにもならないと思うので何とか行政が動いて欲しい。
- ・公園で子どもが遊べない状況の改善。
- ・車のチャイルドシートは、軽自動車だと子どもを三人以上乗せられない。大きな車は維持費がかかる上に小回りもきかない。実際、たまに来る孫を乗せる為だけにはチャイルドシートを買えない。たくさん子どもを産んで欲しいのであれば、育てやすい環境を作って欲しい。
- ・難病の子どもにも対応出来る医療機関等、子どもに対する医療の充実を図って欲しい。
- ・昔は地域で子育てをしていたが、今は知らない人に声をかけられても話さない、などと教育されており、あいさつすらできない子どもが増えている。子も親もコミュニケーションが取れない人が増えてきている。悪循環になっているので対策を考えて欲しい。
- ・特に母子家庭の就業条件が子育ての実態とかけ離れて悪いと感じている。育児施設の不足など需要に追いついていない。行政の対策を望む。
- ・子育てと仕事の環境整備を行政にも協力してもらいたい。保育園も増やしてもらいたい。
- ・オレンジリボンキャンペーン、保育所整備が特に大切なので整備してほしい。
- ・少子化だけ対策しても経済が良くならなくてはいけない。また、夢がないから子どもを作らないのではないか。諸外国を参考に法律が改正されなければいけないのではないか。
- ・今を生きるのが精一杯でゆとりのある生活が出来ないのが現実。根本から変えて欲しい。
- ・日本の適正人口を保つためには、優秀な人材の海外移民等の対応が必要ではないか。
- ・広報誌、テレビ等でもっと子育ては楽しいと思える環境を作ったら良いと思う。
- ・子どもが身近で遊べる小さい公園を街中に増やして、のびのび遊べる環境にして欲しい。
- ・安心して子どもを産み、育てやすい環境づくり、家族のいることに幸せを感じることができる環境づくりをしてほしい。
- ・サービス業は土日仕事のため、スタッフが子どもを預けて安心して働ける環境ではない。
- ・核家族が増える中、地域ぐるみで子どもを育てるコミュニティーの復活と、精神的なフォローが必要なのではないか。
- ・保健婦さんが訪問する回数が1回だけではなく、子育てについて相談・対応できる人をもっと増やして何度か訪問して頂けたら助かる。(育児で悩んでいる方が多い)
- ・核家族が増えており、両親や祖父母などから子育てを教えてもらえずどうしていいかわからない家庭も増えているので、「こんにちは赤ちゃん」事業のように訪問するのはとても良いと思う。また相談できる場所等、分かりやすく周知したら良いのでは。
- ・子育てをしにくくしているように感じる。専業主婦を認めないのが良くないのでは。例えば女性がパートなどで働いても託児所が高く、何の為に働いているのか分からない。

- ・昔と比べて女性が周りに相談しなくなっているように感じる。もう少し相談しやすい環境づくりや人と人が触れ合える場所を作ってみてはどうか。
- ・もっと自然に交流できる場が必要。結婚支援のみを目的としたものではなく、異業種や幅広い方たちが出会えるような場所(行きつけの場等)を調査し、一覧表をつくり、企業の従業員の方たちに配ってはどうか。
- ・小さい頃から子ども同士の関わり、ご近所とのふれあいができるように、小さな単位(ご近所、地区等)の形成が必要。そして、助け合いの関係、協力体制を整える必要があるのではないか。
- ・身近な近所付き合いがなくなり、挨拶しない人も多い。人とのつながりの不足も問題。
- ・人とのつながりの薄さを、まず改善していく必要があるのではないか。
- ・人口が減ってきているのなら外国人を入れればいいのかという話もあるが、製造業はいいとしてもサービス業はどうなのかという問題がでてくる。子育てしながら女性も働いていけるような社会づくりが必要ではないか。
- ・競争意識の欠如が甘えの意識を助長。その為、我慢や辛抱、思いやりや感謝の気持の欠落を招いている。
- ・個人主義の浸透が協調性やコミュニケーションを阻害、または責任転嫁の蔓延に至る。
- ・価値観の多様化により、家族、家庭を顧みるといった意識が希薄になっている。流れるに子どもの存在に夢を巡らすといったパターンも崩れてきている。
- ・離婚率が高まっているのも由々しき問題である。母子家庭、父子家庭、再婚による児童虐待など、結果として子どもが犠牲となる形となっている。

< 産休・育休 >

- ・休暇取得を推進できるのは大手企業・公務員ぐらいではないか。(2件)
- ・育児休業で一時的に雇い入れる従業員の研修費の負担軽減措置と、復職における現場復帰トレーニングにかかる費用負担制度を望む。(2件)
- ・産休や育休を整備しているが、取得する前に辞める人ばかりで困っている。社員全員で会議等してきたが、全く反映されず離職され、経験者を雇い入れるのに苦労している。従業員の意識改革についてどうしたらいいか考えて欲しい。
- ・産休や育休は仕事に支障が出るので、設けることができない。休暇時の補充人員としての人材を県が用意してくれれば、積極的に休暇をとらせることができると思う。
- ・育休から職場復帰するのは良いことだが、それにより新入社員の枠が少なくなっている。そのような点にも今の就職難が関係していると思う。
- ・本人は仕事を続けたいと思っているのに、待機児童の問題など不安が多く、育児休業の取得など制度に対しても不十分な面が多いため、仕事をあきらめざるを得ない様子。そういった、仕事を続けたい若い方達が、安心して出産・仕事ができるようにしてもらいたい。

- ・職種によって育休がとり難いところと、とり易いところがあるので平等にしてほしい。
- ・企業で男性の育児休業取得や育児参加を促進しても、中小企業の場合なかなか周りを気にして取り辛いので県が育児参加を提唱して、半ば強制的に男性の育児参加を促進してみたらいいのではないか。

< 小学生以上 >

- ・児童クラブの延長、短時間の預かり保育などを増やして欲しい。(4件)
- ・高校から大学までが一番お金がかかるのに、対象外の子ども手当はおかしいのではないか。各家庭に支給するのではなく、企業や団体、学校に給付するなどして経済を活性化させるようなお金の使い方をしてもらいたい。(2件)
- ・県立高校学費無料なら、私立高校に対しても同じようにするべきだと思う。(2件)
- ・経済格差が教育格差にならない様、義務教育を充実させ、塾前提の教育を改めて欲しい。
- ・今の子どもたちがどんな社会人となるのかが心配な面が多く、問題を抱えている子ども達への支援(カウンセラーによる家庭訪問)等をもっと充実させて欲しい。
- ・大学を卒業しても就職が困難な状況であり、中卒や高校中退の子ども達が自立していくことはもっと困難である。そういった子ども達にも自立した大人になってもらいたく雇入れを実施しているが、戦力になるには長い年月がかかる。トライアル雇用制度の期間延長を望む。
- ・義務教育期間の教育費や医療費の無料化。高校無料化は進んでいるが、授業料以外にも授業に必要な出費はあるのでそれも無料に。税金を上げるならそういう所に使って欲しいし、納得して払う事が出来るのではないか。
- ・中学、高校のクラブ活動の運動種目を増やして欲しい。
- ・高校までを、義務教育化。
- ・子どもたちも、小学生、中学生、高校生、それぞれの年代で交流ができるよう、地区でのサークル活動等、交流する機会の提供が必要ではないか。

< 行政 >

- ・少子化、未婚化の大きな原因は経済や雇用状況にあると思う。原因が改善されなければ、改善は困難だと思う。(多数)
- ・仕事がないのに子どもを産み育てようとは思わない。仕事を増やしてほしい。(6件)
- ・高齢化と過疎化により小学校の統廃合が進んでおり、地域の小学校がなくなってしまう。そうなりますます過疎が進むので小学校をなくさないで欲しい。(5件)
- ・保育所の増設や教育費・医療費の無料化など、子育てし易い環境づくりにもっと力をいれるべきだ。(5件)

- ・若者が定着しやすく(就職先がある)、育児がしやすい(保育所の充実)町づくりが必要だと思う。(3件)
- ・財政が厳しいのに、赤字が増えるばかりの政策を行っているのはどうかと思う。政治に信頼がもてない。だから子どもを産んで育てようという考えが薄れて来るのではないか。税金が高くても保障があるという安心感がもてる世の中になってほしい。(3件)
- ・地元企業がもっと積極的に地元採用できるような環境を作ってほしい。そうでないと過疎と少子化がすすむのではないか。(2件)
- ・情報が発達しているので、東京に集中している官公省庁を日本各地に移転してみてもいい。そうすれば、国の機関が近くにあることで国に国民の意見が反映しやすくなり、企業も誘致しやすくなり、雇用が増えて子どもを産み育てやすい環境になるのではないか。(2件)
- ・政治が貧困で子育て出来る環境ではないような気がする。(2件)
- ・従業員から託児所を設けて欲しいという意見があり、他企業と共同の託児所を設けたいのだが方法が分からない。行政が協力してくれるとありがたい。
- ・企業も色々な努力をして経営を保っている。対策を企業に押し付けなくて欲しい。
- ・スーパーや病院など母親がよく行く場所で、子育て支援サービスの周知を行えばよいのではないか。
- ・ノー残業デーを設けようとしても少ない人数で仕事をしているので難しい。経済の悪化により雇用するにしても費用がかかるので企業にも投資を考えて欲しい。
- ・ノー残業デーの推進をもっと強くしてほしい。
- ・給食費を払わない親がいるというが、その対策をしっかりとってほしい
- ・子育てにお金がかからないような政策を打ち出して欲しい。(子ども3人目以上は社会保険料無料など、子どもを産みたくなる制度の考案)。
- ・教育費を減らすため、学校は全て無料化して、奨学金のように大人になったら自分が返していくような仕組みにしてはどうか。
- ・経済格差が教育格差になってしまうから、義務教育を充実させ、現在の塾前提の教育を改めて欲しい。
- ・産前産後休暇・育児休業を利用してもらった際の企業への助成金等、もう少し良くして欲しい。行っている事業の繋がりをしっかりとって欲しい。(事業所内に託児所を設置した際、地方局に届け出を出した時点で子育て応援企業の認証をして頂ける等。)
- ・少子化は生活困窮が原因と考えているので、支出(年金や保険料等)を抑えて欲しい。
- ・国の方針に一貫性が感じられない。プランや方針を定めても、実際の活動や効果が見えにくい。プランを策定する者が実地調査をするべきではないか。
- ・子育て支援制度などの情報の開示。具体的な事業や助成があるならば、その情報をもっと身近に感じられるような広報活動が大切であると思う。

< その他 >

- ・えひめ結婚支援センターの協賛企業や、えひめ子育て応援企業になって協力しているのだから、より施策に貢献している企業の印として特別なステッカーなどを作ってみたい。
- ・情報の発信の仕方に課題がある。ネットを活用し情報を効果的に自ら発信していく必要性を感じる（作るだけではもったいない）。
- ・働きやすい環境にし過ぎた事で、子育てしづらい環境を作っているという事をもう一度考えてほしい。
- ・環境に配慮した製品を作っているが、なかなか利益に繋がらない。そういった製品の需要の促進に繋がるような政策を行って欲しい。
- ・愛媛は子育てに対する設備、取り組みが他県より遅れている。
- ・子どもをキャンプに連れて行ったり、預かったりする企画を実施する際の運営費などに助成金を出してもらえると事業がしやすくなる。(イベント・キャンペーン等の企画運営の会社)
- ・諸外国のような「何人目からは〇〇円」とか「何人産むと〇〇が無料」など、大胆で積極的な行政の動きが必要だと思う。
- ・子育てタクシー協会に加盟して子育て支援に取り組んでいるが、行政からの支援金を受けていない。

「幼稚園・保育園ヒアリング」集計結果

【総評】

少子化社会に直面する最先端の現場という点で、その意識は実に高いものがある。

特に「えひめ・未来・子育てプラン」の周知度が企業においては30%にとどまったのに対し、幼稚園・保育園（以下、「幼保」）では72%で周知されていた。

子育て現場の最先端ということから、施設の資源を有効活用した地域交流活動が県内全域で盛んである。

「行政に対する要望」でも取り上げているが、現場には課題が山積みでもある。

保護者の教育意識・参画意識の変化や、共働き世帯の増加により職員業務負担の増など、近年の家庭事情に施設が追いついていない現状もある。

（資料6）愛媛県内幼稚園・保育園に対するヒアリング集計結果報告

愛媛県内の幼稚園92ヶ所、保育園175ヶ所に対しヒアリングを実施した。

【実施期間】平成22年10月中旬～11月末

【訪問先】中予地区：松山市 東温市 伊予市 松前町 砥部町 久万高原町

東予地区：今治市 新居浜市

南予地区：宇和島市 八幡浜市 大洲市

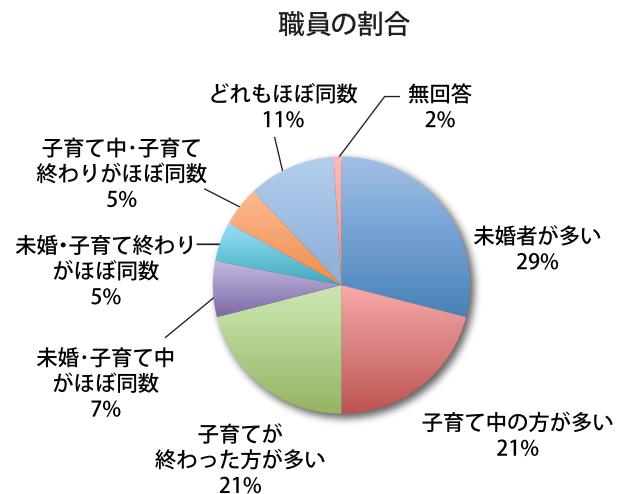
1. 内訳（回答数 267）

	公立保育園	私立保育園	公立幼稚園	私立幼稚園	合計
東予	28	20	2	11	61
中予	44	30	27	31	132
南予	46	7	13	8	74
合計	118	57	42	50	267

2. 職員の割合

	回答数	割合
未婚者が多い	77	29%
子育て中の方が多い	57	21%
子育てが終わった方が多い	57	21%
未婚・子育て中の方がほぼ同数	18	7%
未婚・子育てが終わった方がほぼ同数	12	4%
子育て中・子育てが終わった方がほぼ同数	13	5%
どれもほぼ同数	29	11%
無回答	4	2%
合計	267	100%

※子育て期間は、16歳前後迄を目安とする。

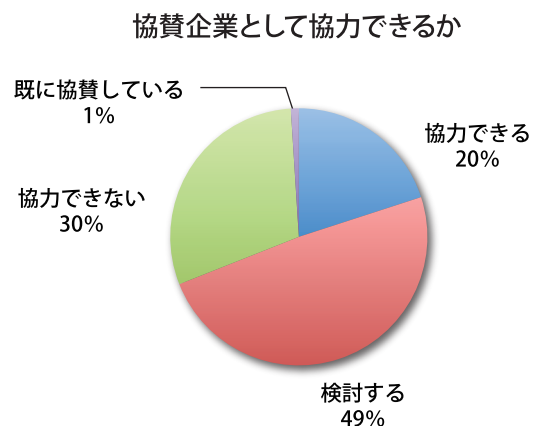


3. えひめ結婚支援センターの協賛企業として協力できるか

	回答数	割合
協力できる	20	20%
検討する	49	49%
協力できない	30	30%
既に協賛している	1	1%
合計	100	100%

※1. 協賛企業とは、出会いの機会が少ない独身男女の方々に、「えひめ結婚支援センター」の目的や事業内容等を周知していただき、メルマガ登録やイベント参加の促進を図ることによって、出会いの場づくりを側面から支援していただく企業や団体、自治体のことを指す。

※2. ヒアリング対象は私立の幼稚園・保育園のみ。

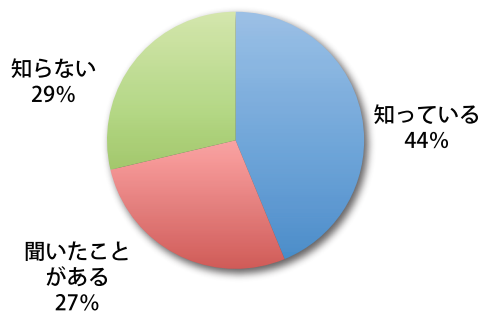


4. 「えひめ・未来・子育てプラン」を知っているか

	回答数	割合
知っている	116	44%
聞いたことがある	73	27%
知らない	76	29%
合計	265	100%

(無回答2件を除く)

「えひめ・未来・子育て・プラン」を知っているか

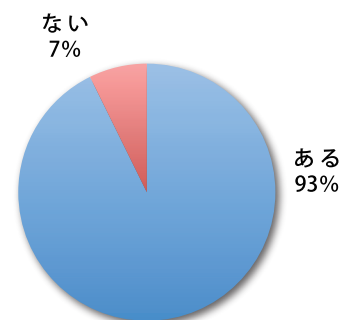


5. CSR(企業の社会的責任)として、子育て等に関して取り組んでいることはあるか

	回答数	割合
ある	229	93%
ない	18	7%
合計	247	100%

(無回答20件を除く)

CSRとしての取り組みがあるか

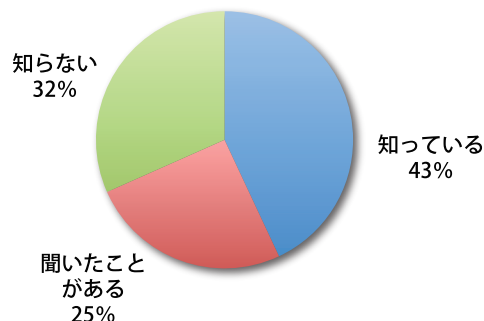


6. 「ワークライフバランス」という言葉を知っているか

	回答数	割合
知っている	102	43%
聞いたことがある	60	25%
知らない	75	32%
合計	237	100%

(無回答30件を除く)

「ワークライフバランス」という言葉を知っているか

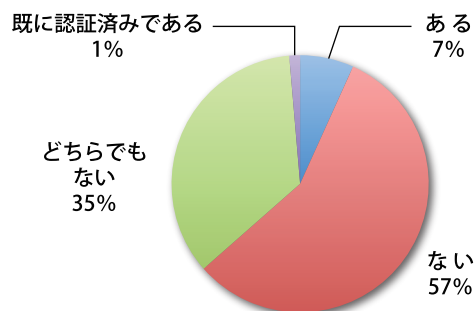


7. 「えひめ子育て応援企業認証制度」について興味があるか

	回答数	割合
ある	5	7%
ない	42	57%
どちらでもない	26	35%
既に認証済みである	1	1%
合計	74	100%

(公立の幼稚園・保育園160件と無回答33件を除く)

「えひめ子育て応援企業認証制度」に興味があるか



職場における両立支援実態調査

【公立 幼稚園 地区別内容一覧】

	中予	東予	南予	合計
産休・育休の整備	4		6	10
柔軟な勤務体制・休暇を取得しやすい職場環境づくり(ノーマル残業デー等を含む)	6		2	8
支援制度の周知・利用促進(代替要員の活用を含む)	0		0	0
復職支援・復職時の配慮(休暇取得中の情報提供、雇用形態の配慮等)	7		0	7
東予は該当なし	合計			25
	17		8	

【公立 保育園 地区別内容一覧】

	中予	東予	南予	合計
産休・育休の整備	17	25	1	43
柔軟な勤務体制・休暇を取得しやすい職場環境づくり(ノーマル残業デー等を含む)	17	22	4	43
支援制度の周知・利用促進(代替要員の活用を含む)	2	0	0	2
復職支援・復職時の配慮(休暇取得中の情報提供、雇用形態の配慮等)	8	23	0	31
	合計			119
	44	70	5	

【私立 幼稚園 地区別内容一覧】

	中予	東予	南予	合計
産休・育休の整備	4	3	2	9
柔軟な勤務体制・休暇を取得しやすい職場環境づくり(ノーマル残業デー等を含む)	6	9	2	17
支援制度の周知・利用促進(代替要員の活用を含む)	2	0	0	2
復職支援・復職時の配慮(休暇取得中の情報提供、雇用形態の配慮等)	4	4	0	8
	合計			36
	16	16	4	

【私立 保育園 地区別内容一覧】

	中予	東予	南予	合計
産休・育休の整備	5	0	1	6
柔軟な勤務体制・休暇を取得しやすい職場環境づくり(ノーマル残業デー等を含む)	6	29	2	37
支援制度の周知・利用促進(代替要員の活用を含む)	6	1	0	7
復職支援・復職時の配慮(休暇取得中の情報提供、雇用形態の配慮等)	5	3	0	8
	合計			58
	22	33	3	

【私立 その他 地区別内容一覧】

	中予	東予	南予	合計
産休・育休の整備	1			1
柔軟な勤務体制・休暇を取得しやすい職場環境づくり(ノーマル残業デー等を含む)	2			2
支援制度の周知・利用促進(代替要員の活用を含む)	1			1
復職支援・復職時の配慮(休暇取得中の情報提供、雇用形態の配慮等)	0			0
東予、南予は該当なし	合計			4
	4			

【全体】

	中予	東予	南予	合計
産休・育休の整備	31	28	10	69
柔軟な勤務体制・休暇を取得しやすい職場環境づくり(ノーマル残業デー等を含む)	37	60	10	107
支援制度の周知・利用促進(代替要員の活用を含む)	11	1	0	12
復職支援・復職時の配慮(休暇取得中の情報提供、雇用形態の配慮等)	24	30	0	54
	合計			242
	103	119	20	

CSRの実態調査

●社内(従業員)向けの両立支援

地区	所在地	内容	
中予地区	松山市	公立 保育園	<ul style="list-style-type: none"> 産休・育休の整備。【6件】 学校行事や子どもの病気に合わせた勤務体制をとっている。【6件】 シフトを組んでおり、従業員同士の協力体制が確立できている。【3件】 有給休暇の取得促進(誕生日等)。【2件】 産休・育休から復帰後の雇用形態は選べる。【2件】 例)正社員でフルタイム(8時間)で働いていた職員が出産し、本人の希望で復職後はパートで短時間(5時間)で働いている。 育休中の職員に対して、現場の情報提供をしている。【2件】
		幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 産休・育休の整備。 子どもの学校行事や急病、予防接種の時などに休みを取らせる。【2件】 産休中・育休中の職員に対して現場の情報提供をしている。【2件】 産休・育休から復職時に、雇用形態等に配慮をしている。
		公立 保育園	<ul style="list-style-type: none"> 産休・育休の整備(基本1年間だが、状況に応じて対応している)。【4件】 子どもの病気や学校行事に個別に対応している。【6件】 有給休暇の取得促進。【3件】 看護休暇等の周知を行う。 育児介護休業法の職員への周知。 育休中の短時間勤務制度等、制度の普及に努めている。 育休中の職員に情報提供をしている。【3件】 復職支援に積極的に取り組んでいる。【2件】
		私立 幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 産休・育休の整備。【4件】 子どもの行事や急な病気の時など、休みを取らせている。【4件】 産休・育休を取得しやすいように配慮している。 育休を取ることを職員に推進している。 夏季休暇、冬期休暇等で有給休暇の消化を推進している。 職員が幼稚園を半額で利用できる。預かり保育は無料。 復職支援に積極的に取り組んでいる。 復職のパート教諭には就業時間等の配慮をしている。 臨時職員等、代替要員の活用。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 産休・育休の整備。 子供の行事や急な病気の時など、休みを取らせている。 残業はほとんどない。 有給休暇の取得促進。 	
	伊予市	公立 保育園	<ul style="list-style-type: none"> 産休・育休の整備。【10件】 子どもの病気や参観日、予防接種等、柔軟に対応。【3件】 ノー残業デーやリフレッシュ休暇。 職員全体で協力し合い残業は極力ないようにしている。一人に負担が偏り仕事を抱え込まないように業務分担している。 休暇を取りやすい職場環境づくり。 短時間勤務制度の導入。 復職支援。 育休中の職員に対して現場の情報提供をしている。
		幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 産休・育休の整備。【2件】 子供の行事や急な病気の時、また家の用事などで休みが必要な場合休みを取らせている。 産休・育休中の職員に対して現場の情報提供をしている。【2件】 (実際に園に来てもらうこともある。職員であることの自覚を持ってもらう意味もある。)

地区	所在地		内 容
中予地区	伊予市	私立 保育園	・産休・育休の整備。(利用実績は少ない。)
		幼稚園	・子どもの参観日などに休みが取れるように、働きやすい環境作りに取り組んでいる。
	東温市	公立 保育園	・育休の整備。 ・学校行事に合わせた休日、急な子どもの病気にも対応。 ・育休中の職員に情報提供。 ・再雇用の実施。
		幼稚園	・産休・育休の整備。 ・子育て中の職員には、参観日や学校行事に参加奨励、休みを取りやすくしている。 ・急な休暇にも、職員同士の連携で対応できる勤務体制。 ・ノー残業の奨励。 ・復職する際は、徐々に仕事や環境に慣れてもらえるように配慮している。 ・公立は代替要員を確保してもらえるので、産休や育休などを取得しやすい職場環境である。
東予地区	今治市	公立 保育園	・産休・育休の整備。【25件】 ・学校行事や子どもの病気などには十分対応できる勤務体制を敷いている。【16件】 ・急な休みも有休で対応。【2件】 ・ワークライフバランス推進。【4件】 ・復職支援。配属先等を考慮する。【23件】
		私立 保育園	・学校行事や子どもの病気などに対応。【9件】 ・継続して働きやすくするための職場環境づくり(協力体制、勤務体制)。【7件】 ・残業はほとんどない。【6件】 ・ノー残業デーを設けている。 ・産休・育休希望者に対し、休暇取得を推奨する。 ・短時間シフト、フレックスタイム制度の導入。【3件】 ・育休明けの職員や幼い子どもがいる職員への勤務形態配慮。【3件】
		幼稚園	・産休・育休の整備。 ・学校行事や子どもの病気などの休暇等は十分対応できる。【3件】 ・急な休みも有休で対応。 ・働きやすい環境づくり。【3件】 ・育休明けの職員や幼い子どもがいる職員への勤務形態配慮。 ・子育てが終わった方の再就職受け入れ。
	新居浜市	私立 保育園	・定時に帰るようにしている。 ・子どもの病気、行事に柔軟に対応。 ・園内に託児所を設けている。
		幼稚園	・産休・育休の整備。【2件】 ・子どもの病気、学校行事に柔軟に対応。【2件】 ・再雇用制度。(実績あり)【2件】
	南予地区	大洲市	公立 保育園
幼稚園			・産休・育児休業の整備。【5件】 ・育児休業を取得している。 ・育児休業取得しやすくしており、代理で臨時職員を採用している。
宇和島市		公立 保育園	・子どもの急な病気や学校行事には有休扱いで対応している。【3件】
		幼稚園	・子どもの学校行事等には有休扱いで休暇をとらせるようにしている。 また、幼稚園・保育園に通っている子どものお迎え時間に合わせて、退社することもできる。
		私立 保育園	・職員数が多く交代制もとりやすく、産休・育休等が整備されている。 ・子育て中の従業員に対して、育児の妨げにならないようシフト組みをして、育児を優先させている。 ・職員が勤務中に、子どもを園に預けることができる。
		幼稚園	・産休・育休等の整備。寿退社しなくてもよい環境を整えている。 ・16時30分には終業し、従業員の生活も充実できるよう配慮している。 ・子育て中の従業員については、自由がきく勤務体制を整えている。
八幡浜市		私立 幼稚園	・産休・育休の整備。

CSR実態調査

【公立 幼稚園 地区別内容一覧】

	中予	東予	南予	合計
地域活動・世代間交流	12		15	27
職場体験・インターンシップ等の受け入れ	12		6	18
子育て支援(保育サービス・相談・イベント・サークル活動等)	2		5	7
園庭開放	7		1	8
ボランティア活動	0		0	0
子どもの安全確保に関する活動(まもる君・あいさつ運動・交通安全運動)	0		1	1
東予は該当なし				
合計	33		28	61

【公立 保育園 地区別内容一覧】

	中予	東予	南予	合計
地域活動・世代間交流	28	31	42	101
職場体験・インターンシップ等の受け入れ	17	35	3	55
子育て支援(保育サービス・相談・イベント・サークル活動等)	12	21	8	41
園庭開放	1	1	1	3
ボランティア活動	0	2	4	6
子どもの安全確保に関する活動(まもる君・あいさつ運動・交通安全運動)	2	3	0	5
合計	60	93	58	211

【私立 幼稚園 地区別内容一覧】

	中予	東予	南予	合計
地域活動・世代間交流	4	7	4	15
職場体験・インターンシップ等の受け入れ	12	7	3	22
子育て支援(保育サービス・相談・イベント・サークル活動等)	12	6	2	20
園庭開放	7	2	2	11
ボランティア活動	0	0	0	0
子どもの安全確保に関する活動(まもる君・あいさつ運動・交通安全運動)	1	4	0	5
合計	36	26	11	73

【私立 保育園 地区別内容一覧】

	中予	東予	南予	合計
地域活動・世代間交流	13	12	2	27
職場体験・インターンシップ等の受け入れ	16	10	2	28
子育て支援(保育サービス・相談・イベント・サークル活動等)	8	8	2	18
園庭開放	0	1	0	1
ボランティア活動	0	0	0	0
子どもの安全確保に関する活動(まもる君・あいさつ運動・交通安全運動)	0	3	0	3
合計	37	34	6	77

【その他 地区別内容一覧】

	中予	東予	南予	合計
地域活動・世代間交流	4		2	6
職場体験・インターンシップ等の受け入れ	3		0	3
子育て支援(保育サービス・相談・イベント・サークル活動等)	3		0	3
園庭開放	0		0	0
ボランティア活動	0		0	0
子どもの安全確保に関する活動(まもる君・あいさつ運動・交通安全運動)	1		0	1
東予は該当なし				
合計	11		2	13

【全体】

	中予	東予	南予	合計
地域活動・世代間交流	61	50	65	176
職場体験・インターンシップ等の受け入れ	60	52	14	126
子育て支援(保育サービス・相談・イベント・サークル活動等)	37	35	17	89
園庭開放	15	4	4	23
ボランティア活動	0	2	4	6
子どもの安全確保に関する活動(まもる君・あいさつ運動・交通安全運動)	4	10	1	15
合計	177	153	105	435

CSRの実態調査

●CSR活動の例

地区	所在地	内容	
中予地区	松山市	公立 保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者とのイベント参加など、地域活動に参加している。【7件】 ・町探検の受け入れ。【2件】 ・小学生との交流。 ・自然体験学習。 ・中学生の職場体験の受け入れ。【5件】 ・インターンシップの受け入れ。【2件】 ・子育て相談。 ・保護者の職業を活かしたイベント開催 (【例】魚屋→魚を見せながら説明会。お好み焼屋→園で作ったキャベツを使ってお好み焼き作り) ・延長保育、低年齢児保育、一時・特定保育。【3件】 ・園庭開放を実施している。 ・まもるくんの家に登録。
		幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭りへ参加、老人ホームを訪問する等、地域交流している。【2件】 ・自然体験学習(田植えや芋掘り)。収穫した作物を親子で食べる。 ・中学生の職場体験の受け入れ。【2件】 ・インターンシップの受け入れ。【2件】 ・市の新規採用職員の研修。 ・園庭の開放を実施し、子育て相談やふれあいの場として提供。【2件】
		私立 保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・町探検の受け入れ。 ・自然体験学習。【6件】 ・小学生との交流。【2件】 ・地域住民、高齢者との交流。【3件】 ・小中高校生の職場見学の受け入れ。【10件】 ・短大生のインターンシップの受け入れ。【6件】 ・一時保育(半日保育含む)を実施。おおむね1歳から就学前の児童を保育園で預かる家庭支援サービス。 ・体験保育として保護者が月に一度給食を食べて帰るイベントを行っている、その際に子育て相談を受けている。 ・交通安全教室。
		私立 幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・老人ホームのイベントに参加。 ・地域行事への積極的な参加。 ・自然体験学習(芋掘り等)。【2件】 ・小中高の職場見学の受け入れ。【8件】 ・短大生、専門学校生のインターンシップの受け入れ。【2件】 ・子育てに関する講習会や相談会を行っている。【4件】 ・専門のカウンセラー、園長(臨床心理士)による子育て相談室。 ・サークル活動の開催により、母親同士の交流を深めている。 ・延長保育、長期休暇の預かり保育。【6件】 ・園庭開放を実施している。【6件】 ・まもるくんの家に登録している。
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設等の訪問。【2件】 ・地域交流(地域の運動会への参加)。【2件】 ・中学生の職場体験の受け入れ。 ・短大のインターンシップの受け入れ。【2件】 ・子育て相談、園の行事にも参加可能にしている。 ・未就園児対象、母と子の子育てサークル開催。 ・延長預かり保育、長期休暇中の預かり保育。 ・まもるくんの家への登録。
	伊予市	公立 保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・町探検の受け入れ。【2件】 ・障がい者の方々との交流。 ・地域の高齢者の方々との交流。【2件】 ・高校生のボランティアとの交流。【2件】 ・夕涼み会や運動会等、地域の方を含めた交流。【2件】 ・地域の方を交えた自然体験学習(芋掘り体験等)。【3件】 ・近所のデイサービス利用者と園児の交流機会を設けている(敬老会等)。【7件】 ・職場体験の受け入れ。【6件】 ・栄養指導を行っている。 ・育児講座を開講している。 ・サッカー交流指導を行っている。 ・未就園児とその親を対象に育児サークル(保健師による)を開催。 ・子育て中の方に対し、病時保育施設やファミリーサポート施設の周知、情報提供。 ・園庭開放を実施(保健師の方を呼び、さりげなく相談できる環境も整備)。【2件】 ・近所の小学校や幼稚園と連携し、地域で見守る環境を整備。
		幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・老人会との交流。【4件】 ・園児の祖父母も交えたもちつき大会。 ・小学生との交流、隣の保育所との交流。【2件】 ・地域の方も交えた夕涼み会や運動会を開催している。 ・中学生の職場体験の受け入れ。【5件】 ・未就園児の親子を対象に園庭を開放している。【3件】

地区	所在地	内容
中予地区	伊予市	保育園 私立 ・保護者を対象とした、子育てに関する不安解消のための講座を開講。
		幼稚園 ・職場体験を受け入れている。【2件】 ・園庭開放を実施している。
	上浮穴	幼稚園 公立 ・隣接する小学校とともに放課後の園舎を開放。 ・保護者が主体でレクリエーションバレーボールを定期的に行っている。
		保育園 私立 ・地域の方々との交流。 ・親子でのランチ試食会開催。 ・講師を招いてのお話会開催。 ・親子ふれあい広場(コーラスやリトミック等)。 ・子ども支援センターと学童保育の児童館を同じ敷地内に併設し、乳児から高校生まで対応している。
	東温市	保育園 公立 ・小学校高学年から高校生まで職場体験を受け入れている。【3件】 ・短大・大学生のインターンシップの受け入れ。
		幼稚園 ・年数回、老人会行事に参加する等、地域の行事には積極的に参加している。 ・高校生の職場体験を受け入れている。【2件】 ・栄養士を招き、保護者を対象とした「食育」講習会等を開催している。 ・園庭開放を積極的に行っている。
東予地区	今治市	保育園 公立 ・世代間交流。【4件】 ・地域の障がい者との交流。 ・手話ボランティア教室交流。 ・小学生の町探検受け入れ。【12件】 ・地域の行事への参加(敬老会など)・交流。【10件】 ・職場体験受け入れ。【16件】 ・専門学校生・大学生インターンシップ受け入れ。【14件】 ・交通安全教室。【9件】 ・マイ保育所・絵本の読み聞かせ。【7件】 ・保健センター利用方法周知活動。 ・わくわく子育てサロン、マイ保育所事業での子育て講座。【2件】 ・ボランティア清掃・美化活動。【2件】 ・こども110番・子どもを守る地域活動(こどもSOS活動)。【3件】
		保育園 私立 ・世代間交流。【4件】 ・地域行事への参加。【4件】 ・小学生の町探検受け入れ。 ・地域のお年寄りとの交流。【2件】 ・地域子育て支援センターで、地域の方や就学児童と交流している。 ・中高生の職場体験の受け入れ。【6件】 ・専門学校・大学生インターンシップの受け入れ。【4件】 ・マイ保育園。【5件】 ・子ども対象の交通安全教室を開催。 ・子育てサークルへの支援や育成。 ・子育て支援情報の掲出。 ・園庭開放を実施している。 ・まもるくんの家に登録。下校時間帯の子どもたちへの注意や見守り。地域の子どもの安全を守る。【3件】
	幼稚園 ・高齢者との交流。【3件】 ・地域行事への参加。【2件】 ・町探検の受け入れ。【2件】 ・職場体験の受け入れ。【3件】 ・インターンシップの受け入れ。 ・学童保育。【2件】 ・不登園児相談。 ・交通安全教室。 ・まもるくんの家・こども110番ステッカー掲示。【2件】 ・横断歩道で、保育所や地域の子どもの安全確保【2件】	

地区	所在地		内 容
東予地区	新居浜市	公立 保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加。【2件】 ・職場体験の受け入れ。【5件】 ・子育てイベントの開催。 ・保護者に対して、子育て講習会を開催している。 ・園庭の開放を実施している。 ・新居浜健康体操の推進。
		私立 幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験の受け入れ。【3件】 ・子育て講習会を開催している。 ・子育てイベントを企画している。 ・園庭開放を実施している。【2件】
南予地区	大洲市	公立 保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者との交流【7件】 ・地域行事への参加【9件】 ・行事を通じて、地域の方々と交流を深めている。 (お誕生日会の際、子どもの祖父母を園に招く。食育を兼ねて、保育園で採れた野菜を用いた料理でパーティ等を行う等。) ・未就園児を対象に行事案内をし、交流している。【3件】 ・職場体験の受け入れをしている。【3件】 ・子どもが生まれた家庭を訪問して、子育て相談への参加を呼びかけている。 ・高校の家庭科の授業『22年度子育てチャレンジ事業』に協力。(妊婦、育児を疑似体験するもの) ・毎日6～7名の未就園児の受け入れ。 ・保健師を招き、各種勉強会の開催。 ・地域子育て支援センターを設け、地域の方々の育児相談を受けている。 ・7時半からの早朝保育。 ・19時半までの延長保育の実施をしている。 ・地域の公民館活動、園庭開放を実施している。
		幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々との交流。【4件】 ・高齢者福祉施設を訪問・交流。【3件】 ・未就園児との交流会。【2件】 ・中高生の職場体験を受け入れている。 ・インターンシップの受け入れ。 ・保護者の子育て相談受付。 ・子育て支援センターにおける子育て相談受付。 ・小中学校と合同でPTA講演会を実施している。 ・健康教室、親子で歯磨き教室を開いている。 ・交通安全教室の開催。 ・園庭開放。 ・あいさつ運動を実施。
	私立	保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に参加している。 ・高齢者福祉施設を訪問・交流。 ・中学生の職場体験の受け入れ。
		幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭りに参加している。 ・高齢者福祉施設を訪問・交流。 ・中高生の職場体験の受け入れ。短大生のインターンシップの受け入れ。 ・未就園児を対象に園庭開放している。
	宇和島市	公立	保育園
幼稚園			<ul style="list-style-type: none"> ・他の幼稚園・保育園との交流。 ・高齢者福祉施設を訪問・交流。【3件】 ・地域の祭りに参加。【2件】 ・ボランティア清掃。【4件】
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に参加。 ・高齢者福祉施設を訪問・交流。 	

地区	所在地		内 容
南予地区	宇和島市	私立 保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの受け入れ。 ・子育てについて互いに学びあう子育てサークルを開設している。【2件】
		私立 幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・町探検の受け入れ。 ・中高生の職場体験の受け入れ。【2件】 ・14時以降の預かり保育の受け入れ。 ・未就学児を対象とした子育て支援ルームの開設。【2件】
	八幡浜市	私立 幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設を訪問・交流。 ・3歳以下の子供たちを月に一度、園と一緒に遊ばせている。(園庭開放)

えひめ結婚支援センターに対する要望調査

【イベント内容の意見・要望】

	意見数	割合
スポーツ・アウトドア(自然とのふれあい)	26	57.8%
気軽に参加できる	10	22.2%
趣味・サークル活動等、	6	13.3%
ボランティア活動を通じた出会いの場を企画	2	4.5%
体験型のイベントの開催	1	2.2%
合計	45	100%

【参加対象・規模・形式等に関する意見・要望】

	意見数	割合
参加者の詳しい情報を知りたい	5	14.7%
抽選方法の見直し(なかなか当選しない)	4	11.8%
参加対象者の年齢幅の拡大	3	8.8%
大人数よりも少人数のイベントを開催すべき	3	8.8%
お見合い形式のイベントを開催して欲しい	2	5.9%
土・日・祝日のイベントを増やして欲しい	2	5.9%
参加費を抑える工夫をすべき(公営施設の活用等)	2	5.9%
その他	13	38.2%
合計	34	100%

●その他の意見(一部)

- グループで参加できるイベントを開催して欲しい
- 南予地区のイベントを増やして欲しい
- 平日夕方に異業種交流会のようなものを開催して欲しい
- 1人親限定参加のイベントがあれば良いと思う

【広報・啓発】

	意見数	割合
えひめ結婚支援センターの広報活動強化	12	33.3%
結婚に対する意識改革が必要	9	25.0%
各種セミナーの開催(少子化問題の啓発、婚活男性へのアドバイス等)	6	16.7%
その他	9	25.0%
合計	36	100%

【その他意見】

- 経済・雇用の安定化
- 気軽に相談できる窓口の設置
- お見合いのサポートをする人材の登用
- レクリエーション協会やNPOとの連携

えひめ結婚支援センターへの要望調査

【イベント内容の提案】

- ・気軽に参加できるようにしてほしい。
- ・スポーツ、アウトドア活動での出会いの場
例)バーベキュー、ハイキング、芋掘り、焼き芋、農業活動、もちつき
- ・ボランティア活動での出会いの場を設けてはどうか。
例)清掃活動、子どもイベントのボランティア
- ・島などへの日帰りツアー、プチ旅行を企画してほしい。
- ・趣味、サークル活動。定期的に活動する。
- ・地域特性に合わせたイベント内容(砥部焼き体験等)

【イベントの参加対象、規模、形式に関する要望】

- ・グループで参加できるものが欲しい(1人では参加しづらい)。
- ・イベントの規模は10～20人程度が適度である。
- ・事前に最低限の参加者情報を把握できないと、安心してイベントに参加できない。
- ・参加者に、戸籍抄本(独身を証明するもの)を提示してもらってはどうか。
- ・お見合い形式の結婚支援をして欲しい。
- ・40～50歳代対象のイベントを増やしてほしい。参加可能な年齢幅を広げて欲しい。
- ・公営施設を活用し、参加費を抑える。
- ・土、日、祝日のイベントを増やすべきだ。
- ・「独身」「結婚」を掲げず、ライフプランセミナー等、目的を他においてのイベントはどうか。

【広報・その他】

- ・更なる広報活動、周知。事業成果、成婚カップルの体験談を積極的にアピールすべき。
- ・パンフレット、チラシをもっと目に付く場所に置くと良い。
- ・参加者の抽選方法を見直してほしい。(なかなか参加できない)
- ・男性へのアドバイス、フォローが必要。
- ・カップルが成立しなかった場合、次につながるアドバイス・フォローも重要。
- ・少子化に関するセミナー
- ・結婚支援センター、各自治体と連携してイベントを企画したい。
- ・レクリエーション協会、NPOと連携してはどうか。
- ・気軽に相談できる窓口の設置。

【未婚化・晩婚化の原因について】

- ・豊かで便利な社会になったので、結婚する気にならないのではないか。
- ・不安定な雇用形態、残業、解雇などにより結婚できない人もいる。
→正規職員雇用の促進、企業・家庭に対する補助金が必要ではないか。
- ・経済的な余裕がないと、婚活も、温かい家庭を築くことも難しい。
- ・特に南予は雇用対策を必要としている。

【その他意見、啓発】

- ・結婚の魅力、子どもの可愛らしさを伝える工夫が必要。
- ・離婚率の上昇も視野に入れた上で、結婚環境の整備に取り組んで欲しい。
- ・自治体の協力が欲しい。

行政に対する要望調査

【幼稚園・保育園の現状、制度に関する意見・要望】	松山 中心部	松山 郊外	伊予	北条	東温	上浮穴	砥部	新居浜	今治	宇和島	八幡浜	大洲喜多	合計
補助金や助成金の増額・教育、福祉に関する予算の増額	10	3	2		1	1	2	6	2	3	1		31
保育所の職員配置基準の見直し	1	3	7					6	4		1	2	24
幼保一元化反対	2	9	1	1	2			1					16
保育士不足の解消(保育士の確保)			2		5			1	1		1	1	11
臨時職員の待遇の見直し	4	1			1		1	1	1				9
障がい児、発達障がい児、配慮を要する子どもの受け入れ体制の改善		1							7			1	9
待機児童の解消	2	1	2					2				1	8
幼稚園の園児不足解消	1	2	1				1	1			1		7
公立私立間の補助金や規定等の格差是正	1	1						3				1	6
提出書類の簡素化	1							1	1			2	5
幼保一元化の実現		1	3					1					5

●その他の意見・要望

年度途中からの入園可能、入所規定の緩和

【施設・子育て環境に関する意見・要望】	松山 中心部	松山 郊外	伊予	北条	東温	上浮穴	砥部	新居浜	今治	宇和島	八幡浜	大洲喜多	合計
子育てに関して相談できる場所やリフレッシュできる場所の設置や周知	3	2	2								1	1	9
空き施設の有効利用(公民館、幼稚園等を待機児童解消のために活用する)	1	2										1	4
ファミリーサポートセンターの設置	1	1									2		4

●その他の意見・要望

子ども達の安全な遊び場の確保

地域一体となって育児に関わっていける環境づくり

共働きの増加に伴い、0～2歳児の保育が増加している。それに対応した施策が欲しい。

【施策に関する意見・要望】	松山 中心部	松山 郊外	伊予	北条	東温	上浮穴	砥部	新居浜	今治	宇和島	八幡浜	大洲喜多	合計
子ども手当の転換流用、保育サービスの拡充	1	1		1					3	1	1	4	12
政策が保護者視点になりがちである	2	1	1					1			3		8
子どものことを第一に考えて欲しい		2	4		1								7
現場の視察		1			1			1				3	6

●その他の意見・要望

現場の声を反映させた政策を作って欲しい

【ワークライフバランスに関する意見・要望】	松山 中心部	松山 郊外	伊予	北条	東温	上浮穴	砥部	新居浜	今治	宇和島	八幡浜	大洲喜多	合計
安心して子育てできる職場環境づくり	7	1	6				1	2	6	1	3	4	31
産休、育休の整備促進、復職支援	2										3	1	6

●その他の意見・要望

企業内託児所設置の支援

ワークライフバランスの意識づけを教育に導入してはどうか

【その他の意見・要望】	松山 中心部	松山 郊外	伊予	北条	東温	上浮穴	砥部	新居浜	今治	宇和島	八幡浜	大洲喜多	合計
保護者の意識改革(しつけを園にまかせている、親の責任・自覚不足)	7	4	3	1	1			1	3			3	23
安定した雇用の確保	1		4			2	1	2	1	2		2	15

教育方針の見直し(未婚・晩婚は男子の弱体化が一因。幼児、児童期に心身ともに強く鍛えるべき)

不妊治療支援

保育事業の充実

配慮を要する子どもが増加している。保護者と子どものコミュニケーションが減少しているためと考えられる。

行政に対する要望調査(地域別)

<少子化対策に関する環境についての要望>

【松山市 中心部】

- ・子育てに関わる従業員への短時間労働の義務付け。→企業への補助
- ・空き施設を利用した学童保育・高齢者の介護。
- ・幼稚園と小学校の連携、空き施設の融通。
- ・延長保育
- ・男子が弱体化している。長い目で見れば、教育方針の見直しが未婚率を下げることにつながる。
- ・保育園への入所規定緩和。年度途中からの受け入れ等。
- ・子ども手当での保育サービス拡充への流用転換。保育料の負担減。

【松山市 郊外】

- ・待機児童解消のために、空き施設(幼稚園・小学校)を有効利用すれば良い。
- ・空き施設の有効利用。0～2歳は保育所での福祉面、3～5歳を幼稚園での教育。
- ・子育て支援センター事業の継続。
- ・保育園への入所規定緩和。母親が就労予定である家庭を受け入れて欲しい。
- ・子ども手当での保育サービス拡充への流用転換。ワクチンなどの医療費、保育料などの養育費に充てる。直接的なサービスへ。
- ・少子化対策予算の増額。幼保一元化に合わせた交付金への充当。

【伊予市】

- ・保育所の増設よりも経済活性化。
- ・経済の安定化。
- ・雇用環境の整備。景気回復。
- ・職場環境の整備。
- ・地域一体となって育児に関わっていける環境づくり。
- ・企業内託児所設置に対する助成金制度。
- ・福祉・教育に関する予算増。

【北条】

- ・子ども手当での保育サービス拡充への流用転換。給食費未払い天引き等。
- ・子ども手当での増額。

【上浮穴】

- ・職業の安定による経済的な安定が第一。
- ・子育て女性の就労支援。
- ・企業や団体に対する少子化問題の啓発。

【砥部】

- ・婚活に求められるのは、まず安定した収入。安定、継続的な雇用促進をすべきである。

【新居浜】

- ・自治体が行う子育てイベントを増やして欲しい。
- ・若年者の雇用対策。
- ・休暇取得しやすい体制の整備。
- ・結婚後も働きやすい体制の整備。

【今治】

- ・子育ての重要性、仕事との両立の重要性を行政から指導して欲しい。
- ・「子育て支援」に対する企業の意識改革。男性の育児参加促進。
- ・ワークライフバランスの推進。
- ・ワークライフバランス推進のための助成金制度が欲しい。
- ・子育て期間中（例えば3歳～5歳等と定める）は短時間勤務を徹底させてはどうか。そのための助成も欲しい。
- ・「イクメン」の普及・啓発。
- ・地元企業、国内企業の活性化。
- ・不妊治療に対する経済的支援と休暇整備。
- ・保育料の無料化、引き下げ。
- ・子ども手当での保育サービス拡充への流用転換。(2件)
- ・施設拡充や職員の増員。
- ・高校、大学進学時の支援も欲しい。

【宇和島】

- ・景気対策。
- ・雇用促進。
- ・離婚率上昇を勘案した政策立案。
- ・若年者の自立支援。
- ・母子家庭を支援するサポートセンターの設置。
- ・ワークライフバランスの支援。
- ・子ども手当での保育サービス拡充への流用転換。幼稚園・保育園の設立へ。

【八幡浜】

- ・女性・主婦の就労支援。子育てと仕事の両立支援、復職支援。
- ・育児休業取得後の復職支援。
- ・昨年の3月に、八幡浜市の一時預かり保育を実施している私立保育園がなくなった。公立の一時預かり保育では定員・年齢制限があるため、ファミリーサポートセンター等の設置が必要である。
- ・企業に対する少子化問題の啓発。
- ・直接育児に関わっていない人でも、地域と協力して育児に関わっていける環境づくり。
- ・育児休業取得、および復職を推進する施策。
- ・子ども手当での保育サービス拡充への流用転換。施設の充実。

【大洲喜多】

- ・育児休業を取得しやすい環境(雰囲気)づくり。(2件)
- ・短時間勤務を推進するための補助金。
- ・施設や企業が連携して子育てをバックアップする環境づくり。
- ・空き施設の有効利用。保育士資格が無い者でも子どもの世話ができる施設にする等。
- ・企業内託児所の設置。
- ・大洲市で行われている子育て支援員の取組みを、母子家庭のみでなく、共働きの家庭にもして欲しい。
- ・愛媛県の雇用が少ないから子ども達が県外に出て帰ってこない。Uターン、および結婚・出産を促進するための雇用対策が必要。

- ・延長保育サービスの充実。
- ・病児看護が受け入れられる職場環境づくり。
- ・子育てボランティアがあれば良い。
- ・子育てを終えてからの就職支援。
- ・子ども手当での保育サービス拡充への流用転換。
- ・母親の就労サポート。
- ・保育施設の充実や保育士確保。

<少子化対策に関する幼稚園・保育園の要望>

【松山市 中心部】

- ・子育て相談をできる場所の増設。周知。
- ・待機児童解消のために、幼稚園を活用する。3歳から幼稚園に通わせてはどうか。
- ・幼稚園協会から派遣される、子育て支援員のような人的支援が欲しい。

【松山市 郊外】

- ・待機児童解消のために、幼稚園を活用できるよう行政の対応を望む。
- ・子育て相談に対処できる専門員の登用。
- ・保育士のための保育サービスがあれば良い。

【伊予市】

- ・待機児童の受け入れ体制の整備。
- ・家族間コミュニケーションに関するアドバイザーの設置。

【北条】

- ・保育料格差の是正。入園規定の緩和。

【新居浜】

- ・3歳児が公立幼稚園に入園できるようにして欲しい。
- ・短時間勤務に対する助成金、指導。
- ・施策へ現場の声を反映して欲しい。
- ・託児施設の増設。

【宇和島】

- ・保育事業の充実。
- ・専門員の登用。

【八幡浜】

- ・子育て相談サービスの充実。育児に苦しむ人たちのメンタルケア。
- ・0～2歳児の保育が増えていることへの対策が欲しい。

【大洲喜多】

- ・待機児童の解消。幼稚園施設の有効活用。

<その他の意見>

【松山市中心部】

- ・幼稚園も保育園とほぼ変わらぬサービスを行っている。幼稚園と保育園の費用格差の是正によって、待機児童の解消に結び付けて欲しい。
- ・企業が共同の託児所を設置する橋渡しをして欲しい。また、その助成金もあれば良い。
- ・保護者の子育てに対する意識改革。
- ・子ども視線の政策。

【松山市 郊外】

- ・施設規模・児童数に対する適正な教員(人員)数の確保・配備。
- ・公立幼稚園が預かり保育を進んで行うべきだ。
- ・幼保一体化には反対である。

【伊予市】

- ・保育所開設への補助金。
- ・保育所の職員配置基準の見直し。

【北条】

- ・配慮を要する子どもが増えている。その原因は、保護者が子どもと向き合う時間が増えてきたからではないか。

【東温】

- ・保育士不足の解消。

【上浮穴】

- ・保育料の見直し。他の市町村と比較すると高いようだ。

【砥部】

- ・正規職員雇用、臨時職員の待遇向上のための補助金。

【新居浜】

- ・保育料の見直し。補助金。
- ・私立幼稚園に対する補助金増額。
- ・職員配置基準の見直し。

【今治】

- ・休暇取得促進に伴う人員確保に対する助成。
- ・ノーマライゼーション(等生化：社会的弱者との共存・共生)の啓発。
- ・保護者の1日保育体験。

【宇和島】

- ・子育て支援企業・施設に対する助成金の増額。(助成金)

【八幡浜】

- ・病児・病後児保育、延長保育、預かり保育等、保護者のニーズを優先してしまっている。子どものことを第一に考えるべきだ。

【大洲喜多】

- ・就園奨励費(入園料・保育料の減免)の県内一律化。
- ・補助金の公立、私立間格差是正。
- ・保護者のニーズだけではなく、現場の声も反映させた施策。(現場視点の政策)

「再就職支援に関するヒアリング」集計結果

愛媛県内の企業を対象に、「専業主婦」の再就職支援の実態についてヒアリングを実施した。

【実施期間】平成22年9月中旬～平成22年10月中旬

1. 回答数	107社		
内訳	東予	52社	
	中予	52社	
	南予	3社	

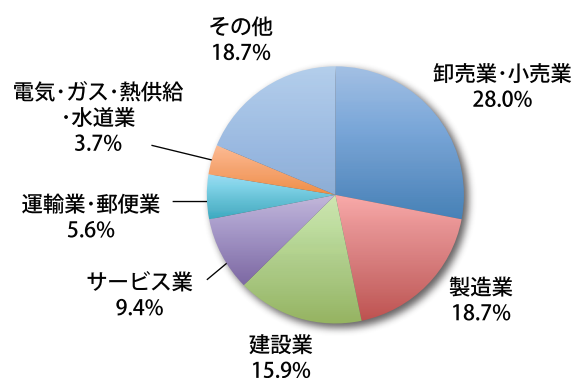
2. ヒアリング実施業種

業種	回答数	割合
卸売・小売業	30	28.0%
製造業	20	18.7%
建設業	17	15.9%
サービス業	10	9.4%
運輸業・郵便業	6	5.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	4	3.7%
その他	20	18.7%
合計	107	100%

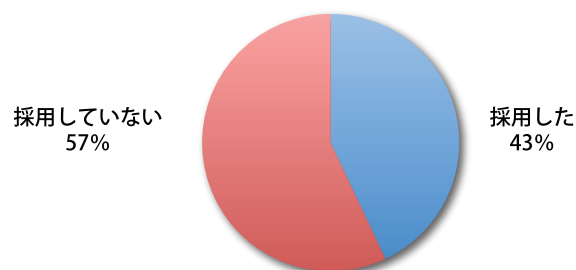
【その他 業種内訳】

- ・農林水産業
- ・鉱業、採石業、砂利採取業
- ・情報通信業
- ・金融業、保険業
- ・不動産業、物件賃貸業
- ・学術研究、専門技術サービス業
- ・飲食業、飲食サービス業
- ・生活関連サービス業、娯楽業
- ・教育、学習支援業
- ・医療、福祉
- ・複合サービス業

ヒアリング実施業種割合



過去3～5年間で専業主婦を採用したか



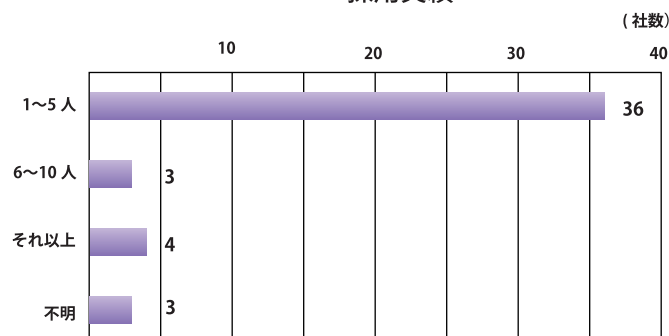
3. 過去3～5年間で専業主婦を採用したか

	回答数	割合
採用した	46	43%
採用していない	61	57%
合計	107	100%

採用実績

4. 3で「採用した」場合の採用実績

	回答数	割合
1～5人	36	78%
6～10人	3	7%
それ以上	4	8%
不明	3	7%
合計	46	100%



5. 専業主婦の雇用形態

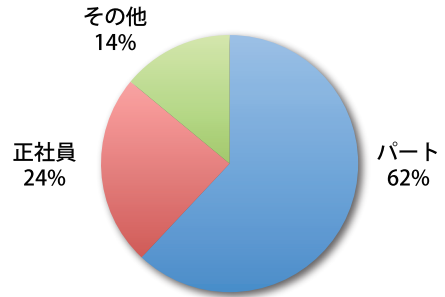
	回答数	割合
パート	31	62%
正社員	12	24%
その他	7	14%
合計	50	100%

※パート、正社員の両方を雇用した実績のある企業は両方の回答数にカウントしている。

【その他 雇用形態】

- ・準社員(フルタイム)
- ・臨時社員
- ・業務委託契約
- ・採用時はパートで、今は正社員
- ・午前中時給アルバイト

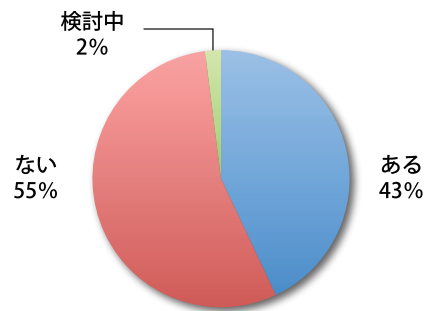
専業主婦の雇用形態



6. パートからの正社員登用制度の有無

	回答数	割合
ある	28	43%
ない	36	55%
検討中	1	2%
合計	65	100%

パートからの正社員登用制度



7. 専業主婦採用時に重視する点

	回答数
意欲・誠実さ	36
経験や実績	30
ビジネスマナー	24
人物・人柄	23
資格	16
その他	11
合計	140

※複数回答有り

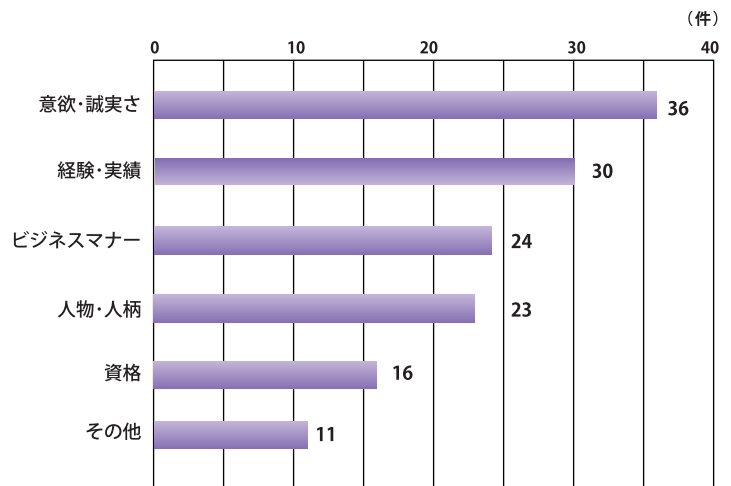
【資格 内訳】

- ・普通自動車運転免許
- ・大型自動車運転免許
- ・第二種運転免許
- ・指定自動車教習所指導員
- ・訪問介護員(ホームヘルパー)
- ・土木施工管理技師
- ・Excel、Wordの資格
- ・マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)
- ・日商ワープロ検定、パソコン検定
- ・インテリアコーディネーター
- ・建築士
- ・日商簿記
- ・自動車整備士
- ・宅地建物取引主任者

【その他 内訳】

- 休みに融通が利く、長期勤務可能
- コミュニケーション能力、協調性
- 健康、体力
- 若さ
- 紹介

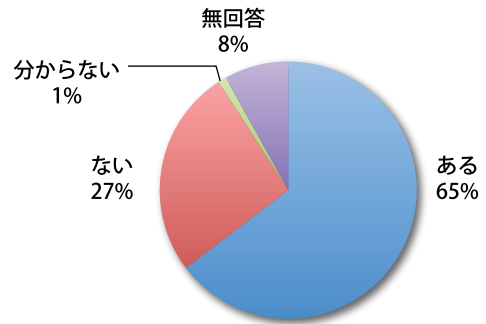
専業主婦採用時に重視する点



8. 今後、専業主婦を採用していく意思があるか

	社数	割合
ある	69	65%
ない	28	26%
分からない	1	1%
無回答	9	8%
合計	107	100%

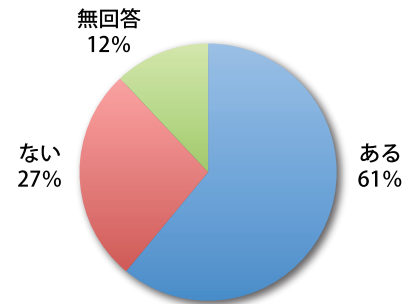
今後、専業主婦を採用していく意思があるか



9. 専業主婦を採用する際、不安や問題点はあるか

	社数	割合
ある	65	61%
ない	29	27%
無回答	13	12%
合計	107	100%

専業主婦採用の際の不安、問題点



【ある場合 内訳】

- ・家庭の事情による急な欠勤、遅刻、退職等
- ・前職からのブランクについての不安
- ・経験、能力不足
- ・勤務時間への制約
- ・特有の職場環境への順応性

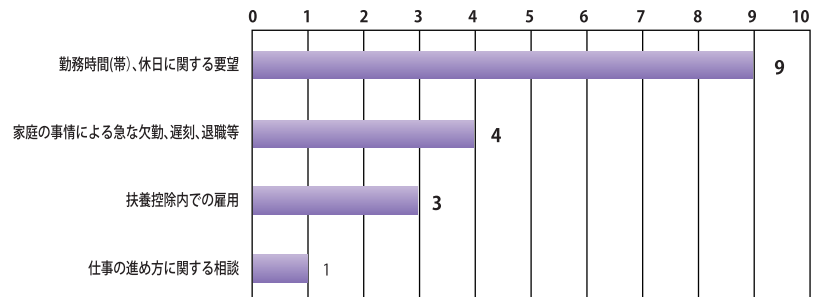
※以下、3. で「採用した」と回答した企業がヒアリング対象

10. 再就職者に対しての配慮、取組内容

- ・教育、研修制度
- ・勤務時間(帯)、休日の考慮
- ・扶養控除(年収130万円)内での雇用

再就職者からの相談、要望

(社数)



11. 再就職者からの相談、要望

- ・勤務時間(帯)、休日に関する要望
- ・家庭の事情による急な欠勤、遅刻、退職等
- ・扶養控除内での雇用
- ・仕事の進め方に関する相談

再就職支援に関して行政に対する要望調査(ヒアリングによる個別事項) * 参考資料

【講習関係】

- ・ビジネスマナー講習の実施・職業訓練(パソコンスキル、技術系、資格取得等)

【助成金について】

- ・短期失業者対象の助成金・助成金制度の周知・主婦採用に対する助成金・助成金申請の簡素化
- ・トライアル雇用における助成金の支給対象緩和

【その他意見】

- ・中小企業にとって、再就職支援は財務的に困難・新卒者の採用数すら激減している中、主婦の採用はハードルが高い
- ・事務に関する職業訓練が多いが、営業体験等もできれば選択する職種の幅も広がるのではないか
- ・保育サービスの充実・子ども手当での流用転換、サービス拡充・子育て中従業員の短時間勤務の義務化